

日本福祉大学同窓会会報

2026.8.15

No.
137



NFUTピックスでもお伝えしていますが、2026年9月～10月に愛知・名古屋を中心に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に出場内定した在学生・卒業生選手の壮行会が、7月22日(水)に美浜キャンパス・文化ホールで200名以上が参加して行われました。地元で開催される国際競技大会ということで、選手はもちろんのこと、会場に集まった学生、教職員の表情にもボルテージの高まりが感じられた壮行会でした。

- 2025年度代表者会議のご報告 1
- 同窓会設立70周年記念事業実施報告 4
- 研究紹介『VRが広げる運動・スポーツの可能性と課題』
～スポーツ科学部 山本真史准教授～ 5
- 経済学部同窓会からのご案内 7
- 日本福祉大学社会福祉学会（学内学会）活動案内 8
- 同窓会開催案内&活動日誌 9
- 大学トピックス&サークル紹介（在学生の活動・活躍） 11
- 第38回社会福祉セミナーinはこだて 開催案内 13
- 通信教育部情報交流 17
- 同窓生リレーずいそう 19
- 地域同窓会、認定同窓会の活動報告 22
- 大学等各種案内 31



2026年度日本福祉大学同窓会代表者会議報告

同窓会設立70周年の節目を乗り越え、
次なる同窓会のビジョンに向けて議論が始まった代表者会議。

母校とともに時代の変化に対応しつつ、 同窓生の絆に導かれ歩みを続けます。

日本福祉大学同窓会2026年度代表者会議は地域同窓会代表者及び事務局長、学部・学科等同窓会、認定同窓会の代表者が会場およびオンラインで集い、去る6月13日(土)に名古屋市内で開催されました。

会議に先立ち、学校法人日本福祉大学丸山悟理事長から学園が2030年度までの基本戦略に基づきトップ評価をめざして取り組んでいく方針について説明。続いて原田正樹学長からは大学の近況報告をいただきました。学園創立70周年事業が2025年度まで3年間かけて実施された意義を「建学の精神に立ち戻り、その継承と発展に向けた学内の合意形成をこの期間で丁寧に積み重ねることができた」と評価されたことが印象的でした。

今回の議事は、2025年度事業報告ならびに決算を第1号・第2号議案、同窓会規程の一部改正を第3号議案、2026年度事業方針・計画と同年度予算案を第4号・第5号議案において審議し、提案はすべて可決されました。

第1号議案・2025年度事業報告では、同窓会設立70周年記念事業の実施結果が一覧化して示され、実施された事例として3件、東北地域ブロックにおける共同事業の取り組み、香川県地域同窓会における学習交流会、勢和寮美浜同窓会の事業が報告されました。

第4号議案・2026年度事業方針・計画では、同窓会の構造的な課題に対する組織の再構築・再編成や新たな取り組みを創造的に推進するため、次の10年(80周年)に向けた中長期ビジョン・方針の策定が必要と指摘。そのための検討と協議を開始し、2027年度の代表者会議で案を示したうえで1年間で議論を深化、2028年度の代表者会議で中長期ビジョンを確認するという流れが承認されました。また、2026年度社会福祉セミナーinはこだでの準備を進める北海道地域同窓会・北海道南地域同窓会からセミナープログラムの趣旨について説明があり、参加への呼び掛けがなされました。

会議の終了後には懇親会を開催し、日本福祉大学から丸山悟理事長、原田正樹学長はじめ教学役職者・幹部職員にも参加いただき、大学と同窓会の連携・親交が深められました。翌日の6月14日(日)は会場を日本福祉大学東海キャンパスに移して各地域ブロック代表者会議を開催。前日に確認された2026年度事業方針・計画を踏まえながら地域ブロック、地域同窓会での展開および固有の課題や計画について議論を行いました。



開催状況

【代表者会議】

日時: 2026年6月13日(土) 12:30～17:30

会場: サイプレスガーデンホテルとオンライン参加者をつないでの開催

出席・成立状況: 本部役員・同窓会代表者117名

(議長委任14名を含む) / 定数117名





第1号議案 2025年度事業報告について

主な事項

1. 2025年度は地域同窓会129件、地域ブロック9件、各種認定同窓会97件、本部5件、計240件の事業を実施、大同窓会への参加が起因し、前年度の実績を大きく上回った。報告書による諸事業の参加人数においても、2025年度は205事業・5,402名の参加を記録しており、コロナ禍以降で見た2023年度の94事業3,850名、2024年度の144事業3,359名から大きく伸びている。
2. 同窓会70周年記念事業を本部・地域・認定等同窓会のあらゆる場で推進し、2025年11月に開催した大同窓会には延べ3,000人を超える参加が得られた。
3. 学園創立70周年記念事業（2023～2025年度）への同窓会募金事業取り組みの結果として、同窓生・地域・認定等同窓会から目標金額の50%を上回る2,614万円を募り、総額5,144万円を学園に寄付することができた。
4. 在学生支援として、大学生協と連携して2024年度に取り組んだ「生協食堂半額Week」を2025年度も6月に3キャンパスにおいて5日間実施し、利用者数で前年を1.1倍、食事の提供で1.25倍上回り、学生の期待と認知度の高まりが感じられる結果となった。
5. 学生募集への寄与と次代の同窓会活動の担い手を育てることを目的とした同窓会推薦入学試験【AO型】への出願実績は前年度と同じ3名で、一定の成果が得られた。一方、2024年度に制度利用者が初めて0名となったUターン就職支援制度には3名が申請し、引き続き制度の有効活用に向けた工夫を重ねていくこととした。
6. 在学生に対する同窓会案内として、入学時に同窓会活動紹介リーフレット（新入生歓迎号等）・オリジナルファイルを新入生に配布し、学内のnfu.jp掲示板、同窓会ホームページ、Facebook等において同窓会からの案内を掲示し、在学生の参加を促した。学部・学科等同窓会においても、看護学部同窓会、介護学専攻同窓会で在学生との交流企画（ホームカミングデー）が実施された。学部同窓会組織ではないものの、社会福祉学部も美浜キャンパス大学祭に合わせてホームカミングデーを実施し、同窓会も企画・周知・運営において協力した。また、経済学部と協力した懸賞論文事業を継続実施した。
7. 「日本福祉大学社会福祉セミナー in 鳥取」（テーマ「とっとり×☆＝自分らしさ」）を鳥取県地域同窓会（中国地域ブロック・四国地域ブロック）と大学、大学後援会との共催で2025年11月30日（日）に実施し、約240名の会場参加者と116名の動画配信視聴者を得た。
8. 事業方針の具体化にあたり、2024年度に引き続き専門委員会における取り組みを推進した。事業委員会では同窓会設立70周年記念事業計画の具体化を進め、大同窓会やキャンプファイヤー、オンライン交流会等の実施にあたって中心的に取り組んだ。総務委員会では、同窓会設立60周年記念事業による報告書『日本福祉大学の教育が重視した社会福祉の専門性とは何か?』をベースに各地域で展開した「報告書を読み解き

語り合う会」の成果等を総括するシンポジウムを大同窓会において開催した。広報委員会と情報化委員会では情報提供・発信の質向上で協働し、ホームページの更新、SNSによる情報発信の拡充等に取り組んだ。

第2号議案 2025年度収支決算

（別掲P.3参照）

第3号議案 2026年度事業方針・計画について

【提案の趣旨】

- ・2024年～2025年度に取り組まれた「同窓会設立70周年記念事業」の成果および評価を継承しつつ、次の10年（80周年）を見据えた同窓会の新たな方向性を示すねらいである。
- ・同窓会の課題に対する抜本的な改革と80周年に向けた中長期ビジョン・方針の策定が必要である。
- ・学園と大学との協議を行い、常任理事会・理事会での検討を進め、2027年度代表者会議で案を提示する。
- ・さらに各地域ブロックや同窓会において議論を深め、2028年度代表者会議でビジョンと方針を確認する。

（主な内容）

【第一の柱】 同窓会活動の新たな創造価値への取り組み

1. 地域の同窓会活動支援の強化（困難を抱える地域への対応、広域連携での活動支援等）を行う。同窓生が多く、活動・参加の改善と向上に課題の多い東海地域ブロックでの対策も進める。
2. 大学が行う諸事業（連携教育、経済学部・スポーツ科学部などの開設周年事業、在学生支援）への協力・参画を強め「事業パートナー」としての役割を果たすことをめざす。
3. 留学生や海外在住同窓生との繋がりをはじめ国際事業プロジェクトの発足、大規模災害支援やアジアパラ競技大会など地域を超えた同窓会ネットワークによって成果を高める取り組みの拡充。

【第二の柱】 組織・運営の抜本的改革

1. 学園規模同窓会の実現（専門学校同窓会との協議を進め、オール日本福祉大学での連合組織をめざした学園規模同窓会検討協議会の推進）に取り組む。
2. 同窓会財政の実質的な改革を進める。支出構造において大きな要素を占める同窓会会報の発行や会議の開催のあり方について、収入においては納入率に継続的課題のある維持会費のあり方。同窓会本部事務局体制と運営（経費の負担など）の適正化に向けた学園との協議を進める。
3. 各専門委員会での計画と取り組みを進める。〈総務〉活動維持に課題のある地域同窓会等への伴走支援、在学生と同窓生の交流促進〈広報〉同窓会報の発行と今後の広報のあり方検討と方針の策定〈情報化〉各種情報ツールによる情報発信の効率化、維持会費等のオンライン決済等、納付方法改善策の検討〈事業〉オンライン交流会の実施、アーカイブ事業や若手交流事業の継続推進

第4号議案 2026年度収支予算について

（別掲P.3参照）

第2号議案

2025年度収支決算について

I. 本会計の部
【収入の部】

2025.4.1～2026.3.31(単位:円)					
収入の部	項目	25年度予算	25年度決算	差異	備 考
	入 会 金	10,974,000	10,446,000	528,000	※1)進会員
	会 費	531,860,000	49,593,000	3,593,000	※2)準会員、正会員、特別会員
	寄 付 金	500,000	305,861	193,139	会員からの寄付
	雑 収 入	1,000,000	1,114,534	△ 114,534	利息、広告費、副賞グッズ、贈答カード・シリアル(¥239)
	特別会計金からの繰入	35,000,000	35,000,000	0	同僚設立10周年記念事業、学園創立70周年記念事業金、その他
	前年度繰越金	37,158,666	37,158,666	0	
	合 計	137,818,666	133,619,061	4,199,605	

※1) 3,000×3,482名=10,446,000円(入会金・通学1年生・編入学生・通信教育部1年生・大学院生)
※2) 会費(進会員)41,806,000円 維持会費7,787,000円 (7,787口 ※内、力ード納入・正会員2,604口・特別会員22口)

【支出の部】

[illegible]

II. 特別会計の部

【積立金特別会計】

項目	2025年度予算		2025年度決算		2025.4.1～2026.3.31(単位:円)	
	予算	実績	予算	実績	予算	実績
前年度繰越金			380,326,059		380,326,059	0
当年度繰入金			0	0	0	0
利息収入			360,000	731,190	731,190	△ 371,190
収入の部計			380,686,059	381,057,249	381,057,249	△ 371,190
繰り出し支出			35,000,000	35,000,000	35,000,000	0
支出の部計			35,000,000	35,000,000	35,000,000	0
資金合計			345,686,059	346,057,249	346,057,249	△ 371,190

III 災害救援基金の設立の部

【災害救援募金会】

項 目	2025年度予算	2025年度決算	差 異
前年度繰越金	2,272,173	2,272,173	0
当年度繰入金	0	0	0
収入の部計	2,272,173	2,315,614	△ 43,441
手数料	0	1,210	△ 1,210
お見舞い金	0	320,000	△ 320,000
支出の部計	0	321,210	△ 321,210
資金合計	2,272,173	1,994,404	277,769

R6能登半島地震 … 300,000円(全損壊1件、半損壊2件、一部損壊5件)
R6能登半島豪雨 … 20,000円(一部損壊1件)

第4号議案

■2026年度収支予算について(案)

I. 本会計の部
【収入の部】

取入の部	項目	2026年度予算	2025年度予算	差	備考
【収入の部】	入会金	10,518,000	10,974,000	△ 456,000	※1) 准会員入会費
	会費	52,498,000	53,186,000	△ 688,000	※2) 准会員、正会員会費、特別会員会費
	寄付金	500,000	500,000	0	会員からの寄付等
	雑収入	1,000,000	1,000,000	0	利息、広告宣伝費金、同意会カードチャージバック
	特別会計基金からの借入	9,000,000	35,000,000	△ 26,000,000	
会 計	前年度繰越金	8,304,221	37,158,666	△ 28,854,445	
	合 計	81,920,221	137,818,666	△ 55,898,445	

	会費(津会員)	学生会費	入会金	通信教育部新入学生・大学院生
※1)	3,000円	3,506名	10,518,000円	編入学生・通学1年生・編入学生・通信教育部新入学生・大学院生
※2)	会費(津会員)	44,478,000円	福祉会費	8,020,000円

【支出の部】

項 目	2026年度予算	2025年度予算	差 異	備 考
1. 事務費	2,740,000	3,240,000	△ 500,000	
用件費	2,250,000	2,500,000	△ 250,000	ZOOM(無償利用)・メール配信 カード有価印刷用紙・消耗品、書籍 図書費
印刷製本費	1,500,000	200,000	△ 50,000	封筒
商品費	300,000	500,000	△ 200,000	
会費	40,000	40,000	0	愛知県私立大学同窓会連合会費
2. 事業費	68,680,000	116,200,000	△ 47,520,000	
理事會費	3,000,000	2,500,000	500,000	旅費、オンラインイベント開催
代表者会議費	6,500,000	6,500,000	0	旅費、会場費
地場プロダクト活動費	4,000,000	4,000,000	0	旅費、地場プロダクト発表会、協議、プロダクト事業費
活動交付金	11,000,000	11,000,000	0	同窓会活動交付金、奨助会
組織部費	4,500,000	4,500,000	0	新入生委員会同窓会事業、理事活動費、交流プログラム(体験企画)
出版部費	27,500,000	25,500,000	2,000,000	同窓会会報、地域ニュース等印刷・送付
大学関係費	180,000	200,000	△ 20,000	同窓会情報処理委託料、通信教育部との関係会
準会員支援費	11,000,000	12,000,000	△ 1,000,000	学生団体の関係(学食、交通機関、娯楽券など)、ボランティア活動支援金、
特別事業費	1,000,000	50,000,000	△ 49,000,000	特別祭典開催に際した施設使用料、施設使用料、学生生活支援費
委託・人件費等	8,000,000	10,300,000	△ 2,300,000	ホームページ管理経費(アーカイブ事業等)
事務理事報酬	5,000,000	5,500,000	△ 500,000	委託費と給与増額の増減により応分を差し、左記の額とする
給与	3,000,000	4,800,000	△ 1,800,000	長期・短期職員人件費
4. 研究助成費	200,000	230,000	△ 30,000	
内学会奨励金	100,000	100,000	0	
學術奨励費	100,000	130,000	△ 30,000	
5. 諸費	200,000	200,000	0	
諸費	200,000	200,000	0	慶弔、その他
6. 予備費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
予備費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
7. 特別会計への繰入金	0	0	0	
特別会計への繰入金	0	0	0	
8. 次年度繰越金	1,000,221	5,648,666	△ 4,648,445	
次年度繰越金	1,000,221	5,648,666	△ 4,648,445	
合 計	81,820,221	137,818,666	△ 55,998,445	

第 2 卷 第 1 期

【積立金特別会計】

【積立金特別会計】		2026.4.1～2027.3.31(単位:円)	
項 目	2026年度予算	2025年度予算	差 異
前年度繰越金	346,057,249	380,326,059	△ 34,268,810
当年度繰入金	0	0	0
利息収入	600,000	360,000	240,000
収入の部計	346,657,249	380,686,059	△ 34,028,810
繰り出し支出	9,000,000	35,000,000	△ 26,000,000
支出の部計	9,000,000	35,000,000	△ 26,000,000
資金合計	337,657,249	345,686,059	△ 8,028,810

III 第 10 卷 全集 環境政策 33

【災害救援募金會計】

【災害救援基金会計】	2026年度予算	2025年度予算	差	異
前年度繰越金	1,994,404	2,272,173	△ 277,769	
当年度繰入金	0	0	0	
資金合計	1,994,404	2,272,173	△ 277,769	



同窓会設立70周年記念事業では、日本福祉大学学園創立70周年記念事業との連携で「共同事業」を2024年度と2025年度の2年間、展開しました。共同事業の主な枠組みは、全国各地で日本福祉大学の教員による講演会・学習企画を開催し、講師と共に在學生（ゼミ生等）も参加して学びに関する発表を行ったり、同窓生や参加者とのディスカッションや交流を深める、といったものです。大学と大学後援会が主催の「日本福祉大学セミナー」（下表でA）に地域同窓会が参加したものと、地域同窓会が総会と同時に開催した「同窓会主催企画」（下表でB）があり、2年間で計33回の開催実績がありました。

【2024年度】※講師の肩書は当時

開催地	開催日	タイプ	参加者数	講師	テーマ
鳥取県米子市	2024年6月15日(土)	B	34	吉野 真紀 教授	子どもの性の多様性～子どもの世界子どもの心～
埼玉県さいたま市	2024年6月22日(土)	B	43	尾林 和子 教授	介護現場にAIがやってきた!!!
福井県福井市	2024年6月30日(日)	B	21	安藤 佳珠子 講師	若者のひきこもり支援の現状と課題
名古屋市	2024年7月6日(土)	B	43	三井 利仁 教授	バラスポーツの魅力～東アジア発「KOBÉ2024世界パラ陸上競技選手権大会」報告＆「パリ2024パラリンピック競技大会」に向けて～
高知県高知市	2024年7月15日(月・祝)	B	38	藤井 渉 准教授	相模原障がい者殺傷事件から学ぶ～生きるに値する命と生きるに値しない命について
山口県下関市	2024年8月10日(土)	A	19	新美 綾子 教授	災害の時に特に助けが必要な人を助けられる社会をどう作るか
滋賀県草津市	2024年9月22日(日)	A	31	菊池 遼 講師	災害にも活きる地域の繋がりがつくり～貧困や孤立・孤独の課題を地域で支えよう～
新潟県新潟市	2024年10月12日(土)	A	31	金澤 泰子 客員教授・ 金澤 翔子 客員准教授	ダウン症の娘と共に生きて～翔子とのこれまでのあゆみ～
三重県四日市市	2024年10月20日(日)	A	32	三井 利仁 教授	日本福祉大学にとってのスポーツの意義
岡山県岡山市	2024年10月27日(日)	B	26	堀場 純矢 教授	児童養護施設からみた子どもの貧困・虐待の背景と支援ワークショップ 「アングゲーム・こころかるた」
京都府京都市	2024年11月10日(日)	A	39	山中 武彦 教授	さまざまな“well-being”のかたち ～リハビリテーションの立場から
神奈川県横浜市	2024年11月16日(土)	B	45	小林 洋司 准教授	Welfare is interesting!!～『ふくし』はおもしろい!!
静岡県静岡市	2024年11月17日(日)	A	230	河合 純一 客員教授	バラスポーツを通して考える共生社会
大分県大分市	2024年11月30日(土)	B	28	村井 裕樹 准教授	みんなに優しいまちづくりを実現!
福岡県福岡市	2024年12月13日(金)	B	21	野尻 紀恵 教授	学校福祉と子ども真ん中社会
愛知県半田市	2024年12月21日(土)	B	23	高村 秀史 講師	能登半島の被災地から学ぶ知多半島の平時のつながりの大切さ



2024年11月30日(土)大分市

【2025年度】※講師の肩書は当時

開催地	開催日	タイプ	参加者数	講師	テーマ
千葉県千葉市	2025年5月11日(日)	B	45	中村 強士 准教授	子どもの貧困～輝く未来に向けて私たちにできること～
静岡県静岡市	2025年5月18日(日)	B	53	川島 ゆり子 教授	地域共生社会をめざす 多様な主体の協働から参加支援の意味とは～
奈良県奈良市	2025年6月22日(日)	B	28	伊藤 文人 教授	社会福祉の本質を歴史と理論から紐解く
群馬県前橋市	2025年8月10日(日)	B	39	野尻 紀恵 教授	社会的孤立とソーシャルワーカー
青森県青森市	2025年8月23日(土)	B	19	児玉 善郎 教授	誰もが安心して住み続けられる 住民支え合いのまちづくり
香川県善通寺市	2025年8月30日(土)～31日(日)	B	32	渡辺 顕一郎 教授	地方における子ども・子育て支援のこれから～若者(学生)たちが地方の取り組みに 魅力を感じ、次世代の支援者として活躍するために～
岩手県盛岡市	2025年8月30日(土)	A	22	伊藤 美智予 准教授	認知症の人の災害時支援から「地域記憶」を用いた地域づくりへー 「地産地消型認知症ケアモデル」への挑戦ー
山形県山形市	2025年9月20日(土)	B	18	菊池 遼 講師	災害に強い地域社会づくり
愛媛県松山市	2025年9月27日(土)	A	36	原田 忠直 教授	その接客に「倫理」はあるか? ～対人サービスと自己形成の社会学～
長野県伊那市	2025年10月4日(土)	A	76	坂口 大史 准教授、 宮國 康弘 講師	人が集まる地域とは? ～伊那市を元気にするためのヒントを皆で考えよう～
広島県広島市	2025年10月11日(土)	A	17	藤井 啓之 教授	教育におけるインクルージョンとはどういうことなのか ～同じ教室で学ぶとインクルーシブで、別の教室で学ぶとインクルーシブじゃない?～
岐阜県各務原市	2025年10月11日(土)	B	124	小松 理佐子 教授	岐阜県で地域共生社会を実現する!～誰もが暮らしやすい地域をめざして～
富山県富山市	2025年10月13日(月・祝)	A	23	金澤 泰子 客員教授・ 金澤 翔子 客員准教授	ダウン症の娘と共に生きて～翔子とのこれまでのあゆみ～
沖縄県那覇市	2025年10月18日(土)	B	35	中村 強士 准教授	子どもの貧困～輝く未来に向けて私たちにできること～
熊本県熊本市	2025年10月25日(土)	A	13	児玉 友 准教授	一緒に楽しむスポーツの力～ユニバーサルスポーツがつなぐ人と社会～
大分県大分市	2025年10月25日(土)	B	19	小林 洋司 准教授	ふくしを『学び』『伝える』こと～リアルを問い、リアルに向き合うために～
福島県郡山市	2025年11月8日(土)	B	24	小松 理佐子 教授	超高齢化社会のふくしを考える～地域包括ケアシステムと人材育成～



2025年8月23日(土)青森市



2025年10月4日(土)伊那市

VRが広げる運動・スポーツの可能性と課題

スポーツ科学部 准教授 山本 真史

最近、テレビやインターネットなどで「バーチャルな世界に没入する」という表現を耳にする機会が増えてきました。家電量販店やイベント会場などで、Head-Mounted Display (HMD) というヘッドセットを装着して、バーチャルリアリティ (Virtual Reality: VR) の世界を体験されたことのある方もいらっしゃるかもしれません。また、実際に体験したことはなくても、「VRとはどのような世界なのだろう」と興味をお持ちの方も少なくないと思います。

近年、私たちがVRに触れる機会が増えてきた背景には、一般家庭でも購入しやすい価格帯のヘッドセットが普及してきたことがあります。ゲーム、観光、教育、医療、リハビリテーション、そしてスポーツのトレーニングなど、さまざまな場所でVRが活用されるようになってきています。

私はスポーツ心理学を専門としています。スポーツ心理学とは、運動やスポーツに関わる人間の行動などを科学的に明らかにしようとする学問分野です。たとえば、試合場面で緊張すると身体の動きはどのように変化するのか、熟練者はどのように対戦相手の動きを予測しているのか、運動スキルを効果的に身につけるにはどのような練習が有効なのか、イメージトレーニングを効果的に行うにはどうすればよいか、運動によって感情はどのように変化するかといった問いが研究対象となります。近年では、このスポーツ心理学の分野においても諸外国を中心にVRを用いた研究が盛んに行われるようになってきました。世界中の研究者が、VRを活用することで運動スキルの向上やメンタルトレーニングをより効果的に行う方法などを探求しています。私自身もその一人として、VRを活用しながら、心理的プレッシャーが知覚-運動スキルに及ぼす影響について研究を進めています。

VRを用いる意義のひとつは、実際の物理的な環境では構築することが難しい状況を、比較的容易に作り出せる点にあります。たとえば、競技会場、観客、対戦相手、試合特有の緊張感などを物理的な環境で再現しようとする、極めて多くの時間、場所、人、金銭的成本が必要になります。しかしVRであれば、小さな部屋の中にいながら、あたかも試合会場にいるかのような環境を体験することができます。また、自分が練習したい時に、比較的低いコストで繰り返し練習でき

ることも大きな利点です。場所、時間、金銭的成本の面で、VRは運動・スポーツの練習環境を大きく広げる可能性を有しています。

VRには、危険を伴う状況を安全に体験できるという利点もあります。たとえば、レーシングドライバーの運転トレーニングを物理的環境で行う場合、事故や怪我のリスクを完全に避けることはできません。しかしVR上であれば、危険な場面を再現しながらも、実際の身体的なリスクを抑えた形でトレーニングを行うことが可能になります。また、物理的に準備が難しい環境、たとえば特定の天候や照明の条件なども、VRでは比較的柔軟に設定することができます。

さらに、VRは健康増進の観点からも注目されています。近年では、VRリズムゲームやVRフィットネスアプリなど、楽しみながら身体を動かすことのできる商用アプリが数多く登場しています。運動を継続するためには、「楽しさ」を感じるのが重要ですが、VRを活用したエクササイズでは楽しさが高まりやすく、運動の継続性を高める可能性が指摘されています。現在、私の研究室では、卒業研究の一環として、商用のVRリズムゲームアプリを使って、課題の難易度と自己効力感との関係性について調べています。自己効力感とは、簡単に言えば、自分がこの課題を達成できそうだと感じる見込みのことで、運動やスポーツを継続する上で、この自己効力感は重要な心理的要因であると考えられています。

一方で、VRには多くの利点があるものの、VRの世界と物理的な世界とで私たちの振る舞いはまったく同じなのでしょうか。この点はVRを研究や応用に活用す



VRのヘッドセットとコントローラ

る上で、重要な問いとなります。結論から言えば、VR環境と物理的環境での私たちの振る舞いには違いがあります。私たちの研究グループでは、スポーツや日常生活の様々な運動に共通する「目標に向かって手を伸ばす運動」の特徴を、VR環境と物理的環境で比較しました。その結果、物理的環境と比べて、VR環境では運動がやや遅くなることが確認されました。このようなVR環境での動きの遅延は、私たちの研究だけでなく、他の研究グループによる報告でも示されています。また、VR環境では身体の動きが大きく、誇張されたような動きになりやすいことも指摘されています。これらの知見は、VRが物理的な世界を完全に代替するものではないことを示唆しています。

では、なぜVR環境と物理的環境では行動が変わるのでしょうか。その要因のひとつとして、VRではヘッドセットを装着し、目のすぐ近くにあるレンズを通して映像を見ることが挙げられます。私たちが物理的環境で物を見るときには、両眼の輻輳と水晶体の調節をうまく連動させていますが、ヘッドセットを通してVR映像を見る場合には、両眼の輻輳と水晶体の調節との関係が物理的環境とは異なり、物を見る際の視覚メカニズムが変化してしまう可能性が指摘されています。また、VR環境では、物理的環境に比べて触覚情報が乏しくなりやすいことも重要な点です。これらの要因によって、VR環境では運動に関わる神経メカニズムが物理的環境とは異なることとなり、その結果として、行動にも変化が生じると考えられています。

さらにVRを使用する際には、サイバー酔いにも注意が必要です。これはVR映像を見ている際に生じる不快感や吐き気などのことです。すべての人に生じるわけではありませんが、VRを活用する際にはこうしたリスクを十分に考慮しておくことが求められます。このように、VRは運動やスポーツに大きな可能性をもたらすツールである一方で、留意すべき点もいくつかあります。大切なことは、VRを「現実の完全な代わり」として捉えるのではなく、VRならではの利点と限界を理解した上で活用することだと考えています。今後、VRは人工知能（AI）との組み合わせによって、さらに発展していくと考えられています。AIによって、個人のスキルレベル、心理状態、練習履歴などに基づく、その人に合ったトレーニング環境が構築・調整されていくことが予想されます。



ゼミ活動でVRを使用している様子

最後になりますが、本稿の内容について、より詳しくお知りになりたい方がおられましたら、僭越ながら下記の論文をご一読いただけますと幸いです。



スポーツ心理学における VR研究の動向と今後の展望

山本真史・荒木雅信

スポーツ心理学研究（早期公開）

<https://doi.org/10.4146/jjspopsy.2026-2522>



日本福祉大学スポーツ科学部 准教授

山本 真史 Shinji Yamamoto

■略歴

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了
博士（人間・環境学）
専門分野：スポーツ心理学

■最近の業績

- ① 山本真史・荒木雅信（早期公開）スポーツ心理学におけるVR研究の動向と今後の展望. スポーツ心理学研究
- ② Yamamoto et al. (2026) Grounded expectations: stability of sensorimotor priors during vertical pointing in a virtual environment. *Journal of Neurophysiology*, 135, 202-213.
- ③ Yamamoto et al. (2025) A comparison of pointing movement kinematics between virtual and physical environments. *Experimental Brain Research*, 243, 1-17.
- ④ Yamamoto and Araki (2025) Visually-perceived momentum in biological motion: the influence of changes in running velocity. *Perceptual and Motor Skills*, 132, 876-890.

あいさつ

日本福祉大学経済学部が開設50周年という節目を迎えましたことにあたり、経済学部同窓会会長として心よりお慶び申し上げます。半世紀にわたり、本学部は「ふくしの総合大学」の一翼として、地域と世界の課題に向き合う多様な人材を社会に送り出してきました。その歩みを支えてこられた教職員・同窓生・地域の皆さまに、深く感謝いたします。

この節目の年にあたり、9月20日に経済学部開設50周年記念事業を開催いたします。当日は、懐かしい仲間や恩師との再会に加え、経済学部のこれからとともに語り合う貴重な機会となります。世代や職域を超えてつながりを広げる場として、多くの同窓生にぜひご参加いただきたく、ここに皆さまのご参集を心よりお願い申し上げます。

経済学部同窓会 会長 近藤 英夫

活動報告

● 2026年2月21日（土）

経済セミナー・名刺交換懇親会

『人口減少社会を考える』

講師：日本赤十字社常任理事・元消費者庁長官・元文部科学審議官 板東 久美子 氏

会場：日本福祉大学 名古屋キャンパス

25名が参加。人口減少が進んでいる日本の状況と、それによる社会の変化・将来像を明らかにしたうえで、男女共同参画やワークライフバランスに言及しながら日本社会が目指すべき姿について話されました。また、人口減少社会における大学のあり方について、AIの活用とリスクを踏まえた考察も行われ、学びの深い講演となりました。

● 第4回経済学部懸賞論文事業

〈卒業論文の部〉（懸賞金：同窓会長賞10万円、入選5万円）

- ・同窓会長賞 石丸 宙奈『あいち離島観光における若年層誘致の課題と可能性』
- ・入選 長岡 雄大『選択的夫婦別姓制度の導入に向けた法的・社会的視点からの考察』
- 平田 みなみ『生成AIによるAI音声の法的課題』

〈一般小論文の部〉（懸賞金：同窓会長賞3万円、入選1万円）

- ・同窓会長賞 安井 祐輔『若者向け知多半島のお土産提案』



2026年度事業

● 2026年9月20日（日）

経済学部開設50周年記念講演会・祝賀会への参加と経済学部同窓生の集い

（会場：日本福祉大学東海キャンパス ※教室は当日、場内でご案内します）

・経済学部同総会理事会 13時30分～

・経済学部同窓生の集い 14時～

・記念講演会 15時～

『地域の未来は、人の痛みに寄り添うところから生まれる～とにかく「現場で働く」ことから全ては始まる～』

（講師：医療法人社団しろひげファミリー理事長 山中 光茂 氏）

・記念祝賀会 17時30分～（会費制）

◆ 経済学部同窓生の皆さまは「経済学部同窓生の集い」からご参加ください！

予定

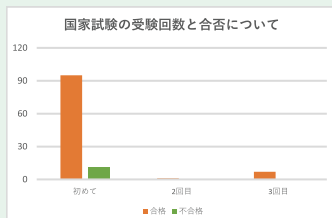
● 2027年2月6日（土）

経済セミナー・名刺交換懇親会

（名古屋キャンパス）

NFU ライセンススクール 国家試験受験対策講座

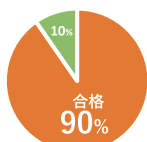
2025年度に NFU ライセンススクールを活用して国家試験を受験した 139 名の在学・卒業生に聞きました。（アンケート対象者：593 名、回答率：23.4%、2026 年 3 月実施）



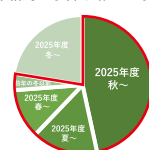
合格は初回に狙う！

合格者の約 8 割が秋までに学習を開始！

ライセンススクール申込者合格率



本格的に学習を始めた時期



ライセンススクール活用で合格率UP！



社会福祉士 オススメ受験対策講座

NFU ライセンススクールを活用して難関試験合格を目指しませんか？

◆ 最短合格必勝講座！全 5 講座

確認しておきたいポイントをしっかり押さえる！

◆ 合格の近道＋試験委員対策 全 8 講座

合格者が選ぶ人気 No.1 講座が新試験攻略に向けてパワーアップ！

◆ 一日で重要ポイント総確認＋予想問題演習講座 全 4 講座

頻出事項や重要ポイントを一気に学習し、効率的に実力を養成！

◆ 科目別頻出対策講座 全 15 講座

対面講座で勉強法から試験対策まで、合格に向けて伴走します！

精神保健福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・こども家庭ソーシャルワーカー対策講座も開講！

講座の詳細・お申込みは HP をご確認ください！
<https://nfuls.nfu.co.jp/>



NFU ライセンススクール事務局（株式会社エヌ・エフ・ユー）

TEL：0569-47-6530 E-mail：nfuls@nfu.co.jp

問い合わせ受付時間：月～金 10 時～17 時

（土日祝日・お盆・年末年始等を除く）



学内学会は、日本福祉大学の卒業生、在学生、大学院生、教職員等で構成する、「権利のための」社会福祉実現を目的とした研究や実践と会員相互の交流を深めるために設立された日本福祉大学公認の自主的な研究団体です。1968年に発足し、研究大会をはじめとする企画と学会誌「福祉研究」の発行を主な活動として続けています。「研究のための研究」、「実践のための実践」ではなく、研究と実践、大学と現場を結びながら、時代の動きと社会福祉の現実、国民生活の実態・要求を見極め、真に国民のための社会福祉研究、実践の方向を切り拓き、ウェルビーイングを保障していくことを目的としています。

会員特典 ①学会誌『福祉研究』と会報(年3回)をお送りします。 ②大会や各種企画に特典価格で参加できます。③学会誌『福祉研究』へ投稿、大会や各種企画での発表など研究活動に参加できます。

年会費:卒業生・教職員・協力会員 5,000円/学生・院生 2,500円

【第57回大会案内】

〈大会テーマ〉 ソーシャルワーカーは社会変革の担い手になりえるか？

「効率的に、早く退院させてほしい。」一病院や施設から迫られる経営の論理。その狭間で、認知症の高齢者や貧困世帯が「ケアのパッケージ」からこぼれ落ち、排除されていく現実を、私たちは日々目の当たりにしています。ソーシャルワーカーは、「制度を分かりやすく説明するだけのナビゲーター」で、本当に十分なのでしょう。スピードと効率が最優先される現代社会において、知らず知らずのうちに、私たちは現行の社会体制を補完する「制度の番人」に甘んじていないでしょうか。福祉現場に渦巻くこのリアルな葛藤や差別、矛盾は単なる愚痴ではありません。それこそが、社会の構造的抑圧を撃つ「批判(critique)」の出発点です。日々の業務のなかにこそ、変革への抵抗の足場があります。現場の実践者と研究者が一堂に会し、ソーシャルワークが持つ本来の「社会変革の可能性」を共に編み直す第一歩を踏み出してみませんか。若手や学生の皆さまの初々しい疑問も大歓迎です。ここで共に悩み、深く議論しましょう。

〈日 時〉

2026年9月26日(土)13:00~18:30

〈会 場〉

日本福祉大学名古屋キャンパス 北館8階
名古屋市中区千代田5-22-35
(市営地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車徒歩5分、JR中央線鶴舞駅下車徒歩5分)
<https://www.n-fukushi.ac.jp/campuslife/campus/nagoya/>



〈参加方法〉

会場参加、オンライン(Zoom)参加のどちらかを選択できます。

〈参 加 費〉

会員：1,000円、非会員：1,500円、学生・大学院生：無料

〈参加申し込み方法〉

ホームページ、Google フォーム、メール、FAX、郵送から選択してください。

※2026年9月19日(土)までにお申し込みをお願いします。

※参加費の支払い方法は、会場参加者は事前振込または当日支払いが可能です。オンライン参加者は事前振込のみです。お申し込み後、振込先とオンライン参加のURLを案内します。お振込費用はご本人様負担となりますので、予めご了承ください。

〈プログラム〉

12:00 受付開始

13:00 開会挨拶

13:10 開催

基 調 講 演

「社会福祉の歴史からたどる「社会福祉」追求の途一社会福祉基礎構造改革をめぐる日本福祉大学関係者の議論にも触れながら」
講師 岡本周佳氏(静岡福祉大学准教授・福祉社会開発研究科博士課程修了)

14:30

シンポジウム

「ソーシャルワーカーは社会変革の担い手になりえるか？」

- ・岡本周佳氏(静岡福祉大学准教授・福祉社会開発研究科博士課程修了)
- ・村上武敏氏(佛教大学社会福祉学部教授・社会福祉学研究科修士課程修了)
- ・磯野博氏(日本障害者協議会政策委員・社会福祉学部卒業)
- ・渡鍋宏史氏(介護支援専門員、日本福祉大学非常勤講師・社会福祉学部卒業) ほか

司会 伊藤文人運営委員長(日本福祉大学教授)

17:10 社会福祉基礎講座

講師 両角達平氏(日本福祉大学社会福祉学部講師)

「ユースワークのこだわり一若者を「支援の対象」にしない福祉実践とは？」

18:30 社会福祉基礎講座

(※基調講演、シンポジウム、基礎講座の間に、それぞれ10~15分の休憩時間を設けます)

【福祉研究】

学会誌『福祉研究』は、学会創立期より定期的に発行している社会福祉分野及びその関連分野(保育、教育、看護、リハ、福祉経営、街づくりなど)の実践、制度、政策、実態、理論などに関する論文集です。年1回のペースで発行しています。主に現場の実践記録、実践論、学術論文、研究ノート、調査報告、翻訳、書評、資料紹介、研究会記録など同分野の実践に資する内容の論文を掲載しています。また、卒業生の方の論文やレポートの投稿もお待ちしております。『福祉研究』116号から、Amazonで購入が可能になりました。



問い合わせ・入会・大会参加申し込み

日本福祉大学社会福祉学会(学内学会)事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学内

- ホームページ:<https://sites.google.com/view/nfu-ssw/>
- 大会申し込み:<https://forms.gle/F5TvfDQXs1gVr48b8>
- メール:gakkai@n-fukushi.ac.jp
- FAX:0569-87-1690



ホームページ



大会申し込み

同窓会開催のお知らせ



同窓会
ホームページ

イベント情報は日々更新されますので、最新の詳細につきましては同窓会ホームページをご覧ください。

ブロック	ブロック・地域同窓会・認定同窓会	開催日	会場	内容（講師所属は2026年6月現在のものです）
北海道	北海道地域ブロック	12月3日（木）	オンライン	●Zoom交流会
	群馬県地域同窓会	8月29日（土）	鳥魚炉	●研修会 ●通信生交流会 ●懇親会
	東京地域同窓会	9月5日（土）・6日（日）	ビジョンセンター東京京橋	●スクーリング公開講義 ●在学生・同窓生の交流懇親会
	神奈川県地域同窓会	9月12日（土）	板前がの町酒場「庄屋」上大岡店	●みんな集まれ！飲んで食べて何でも語ろう！懇親会
	東京地域同窓会	10月3日（土）	高尾山	●高尾山ハイキング
	東京地域同窓会	10月17日（土）	国営昭和記念公園	●黄葉・紅葉まつりでBBQ交流会 at 国営昭和記念公園
	東京地域同窓会	10月31日（土）	ハンセン病資料館、多磨全生園	●国立ハンセン病資料館・多磨全生園見学会（医療部会）
	神奈川県地域同窓会	10月31日（土）	喜楽ファーム	●就労継続支援B型事業所見学会
	東京地域同窓会	11月14日（土）	東京サテライト	●「社会福祉セミナー in はこだて」を東京サテライトで視聴する会
関東	神奈川県地域同窓会	11月27日（金）	鎌倉市内	●秋の鎌倉散策
	神奈川県地域同窓会	12月19日（土）	横浜市内	●忘年会
	東三河地域同窓会	9月20日（日）	蒲郡市内	●アジア競技大会トライアスロン応援企画
	静岡県地域同窓会	9月21日（月）・22日（火）	静岡労政会館／伊豆市内	●講演会（大学セミナー） ●交流会 演題：ダウン症の娘（こ）と共に生きて～翔子とこれまでのあゆみ～ 講師：金澤 泰子 先生（日本福祉大学客員教授、東京芸術大学評議員、書家） 金澤 翔子 先生（日本福祉大学客員准教授、書家）
	西三河／碧海地域同窓会	9月27日（日）	安城市総合福祉センター	「安城の集い」 ●ギターコンサート ●福祉講演会 ●入学・卒業・修了を祝う会 演題：安城市の地域福祉の仕組みとニーズに応える地域福祉のあり方 講師：田中 由佳 氏（安城市社会福祉協議会） 未定（市役所職員・社会福祉協議会職員）
	岐阜県地域同窓会	10月17日（土）	中部学院大学各務原キャンパス／ matane HERB&SPICE	●講演会 ●パネルディスカッション ●懇親会 演題：ひとりぼっちをつくらない～地域共生社会の実現に向けて～ 講師：勝部 麗子 先生（日本福祉大学 客員教授）
	東海地域ブロック	10月17日（土）	名古屋キャンパス	●公務員交流会
	三重県地域同窓会	10月18日（日）	都ホテル四日市	●講演会 ●総会 ●交流会 ●懇親会 演題：国際協力を通じた学び合い～ICTでつなぐグローバルな学びの未来～ 講師：佐藤 慎一 先生（国際学部 教授）
	瀬戸・尾張旭・長久手地域同窓会	11月15日（日）	長久手市文化の家	●文化講演会 ●総会 ●交流会 演題：「助け合い（互近助）」を地域の力に ～災害ボランティアの経験を、ふだんの防災・減災へ～ 講師：高村 秀史 先生（全学教育センター 講師）
東海	北尾張・西尾張・南尾張地域同窓会	11月23日（月）	尾張一宮駅前ビル（iビル）	●尾張3地域同窓会合同「講談で語る福祉」 ●茶話会 講師：旭堂 南士 氏（上方講談協会 名古屋支部所属講師 精神保健福祉士）
	和歌山県地域同窓会	10月17日（土）	和歌山県勤労福祉会館プラザホープ	●総会 ●記念講演会 ●懇親会 演題：居場所で育つ子どもたち～みんないっしょに生きていく～ 講師：馬場 潔子 氏（NPO法人子どもの生活支援ネットワークこはうす 事務局長）
	奈良県地域同窓会	10月17日（土）	若年認知症サポートセンターきずなや	●バーベキュー交流会
	滋賀県地域同窓会	10月31日（土）	宇治市内	●宇治観光バスツアー
近畿	京都地域同窓会	11月14日（土）	アパホテル京都駅前	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題：ソーシャルワークが紡ぐ多職種連携の可能性 講師：上山崎 悦代 先生（福祉経営学部（通信教育）准教授）
	岡山県地域同窓会	9月26日（土）	NPD貸会議室	●総会 ●講演会 ●大学近況報告 演題：子ども・若者の多様な生活課題とその支援 講師：野尻 紀恵 先生（社会福祉学部 教授）
中国	広島県地域同窓会	11月1日（日）	広島平和記念公園	●広島平和記念公園 碑巡り
	宮崎県地域同窓会	9月5日（土）	ホテルメリージュ	●総会 ●懇親会
九州・沖縄	福岡県地域同窓会	9月26日（土）	未定	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題：次世代型の福祉施設運営・人材マネジメント 講師：綿 祐二 先生（福祉経営学部（通信教育）教授）
	長崎県地域同窓会	9月26日（土）	出島メッセ	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題：見方を変える、価値が変わる ～アートと福祉が余白を価値に変える～ 講師：原田 啓之 先生（日本福祉大学 客員教授）
	鹿児島県地域同窓会	9月26日（土）	鹿児島県社会福祉センター	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題：ソーシャルワークが紡ぐ多職種連携の可能性 講師：上山崎 悦代 先生（福祉経営学部（通信教育）准教授）
	福岡県地域同窓会	10月18日（日）	未定	●講演会 ●昼スナ体験ツアー 演題：すべての物語は語られる価値がある～中洲昼スナ ソーシャルワーク実践報告 講師：フィッシュ明子 氏 中洲昼スナ「役にたたなくてもいい場所」 ママ・同窓生 2011年度卒
	熊本県地域同窓会	11月14日（土）	熊本県総合福祉センター	●総会 ●情報交換会 ●懇親会
	沖縄県地域同窓会	11月21日（土）	沖縄県総合福祉センター	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題：ライフステージを紡ぐシームレスなサービス利用～次世代型福祉のあり方～ 講師：綿 祐二 先生（福祉経営学部（通信教育）教授）
	福岡県地域同窓会	12月12日（土）	未定	●ふくし学習会 ●懇親会 演題：家族形態の変容と高齢者の社会的孤立～「身寄り問題」を考える～ 講師：藤森 克彦 先生（福祉経営学部（通信教育）教授）
	福岡県地域同窓会	2027年1月16日（土）	未定	筑後 de 新年交流会
	福岡県地域同窓会	2027年2月20日（土）	未定	筑豊 de 新年交流会
	福岡県地域同窓会	2027年2月27日（土）	未定	北九州 de 新年交流会
学部・専攻 同窓会	経済学部同窓会	9月20日（日）	東海キャンパス	●セミナー ●集い ●同窓会企画 講師：山中 光茂 氏（医療法人社団 しろひげファミリー理事長）
	愛知県公私立小・中・高・ 市立特別支援学校 教職員同窓会（あすなろ会）	10月3日（土）	名古屋キャンパス	「教職員の活動報告と交流の集い」 ●活動報告 ●交流会 報告テーマ：子どもの笑顔が現役継続の原動力 講師：熊崎 輝日古 氏 報告テーマ：愛知県立日進高校19年間の取り組み 講師：加藤 孝久 氏
社会福祉セミナー		11月14日（土）	はこだて湯の川温泉 花びしホテル	●社会福祉セミナーinはこだて 詳細はP13をご覧ください。

地域同窓会事業は、お住まいの地域に関わらず、ご自由に参加いただけますが、一部制限させていただく場合もあります。皆さまのご参加をお待ちしています。

1月	11(日)	東京地域同窓会 東京地域同窓会と尾林ゼミとのコラボ学習会
	11(日)	尾林ゼミ(東京地域同窓会と共催でコラボ学習会)
	17(土)	福岡県地域同窓会 筑後de新年交流会
	17(土)	山口県地域同窓会 総会・懇親会
	24(土)	福岡県地域同窓会 北九州de新年交流会
2月	31(土)・2/1(日)	第2回近畿地域ブロック代表者会議
	4(水)	広島県地域同窓会 令和7年度総会・懇親会
	7(土)	第2回関東地域ブロック代表者会議
	7(土)	大阪地域同窓会 遅めの新年会
	8(日)	第2回北海道地域ブロック代表者会議
	8(日)	香川県地域同窓会 学習交流会シンポジウム
	13(金)・14(土)	KOBAZEMI85
	14(土)	兵庫県地域同窓会 ひょうご日福 交流cafe ～就活の相談から現場の裏話まで、ゆるくつながる1時間～
	14(土)	佐賀県地域同窓会 総会・懇親会
	14(土)	第3回常任理事会
	14(土)・15(日)	プロジェクトW
	15(日)	静岡県地域同窓会西部支部 お話ピアノカフェ
	21(土)	第2回東海地域ブロック代表者会議
	21(土)	福井県地域同窓会 同窓生のつどい
	21(土)	福岡県地域同窓会 筑豊de新年交流会
	21(土)	経済学部同窓会 セミナー・名刺交換会(経済・名古屋合同)
	21(土)	名古屋地域同窓会 セミナー・名刺交換会(経済・名古屋合同)
	22(日)	A supple mind (サブルマインド)
	28(土)	第3回理事会
3月	7(土)	東京地域同窓会 登戸研究所見学会
	7(土)	宮城県地域同窓会 総会・講演会
	7(土)	長野県地域同窓会 長野県地域同窓会セミナー
	7(土)	埼玉県地域同窓会 余熱体験施設のプールで ①アクアビクス☆ ②余熱お風呂やサウナを楽しもう!
	7(土)・8(日)	訓覇スウェーデンセミナー同窓会
	14(土)	栃木県地域同窓会 総会・講演会・懇親会
	14(土)	和歌山県地域同窓会 交流会
	14(土)	歴代大谷ゼミ同窓会
	14(土)	スポーツ研究会枳中同窓会
	15(日)	東京地域同窓会 尾林和子元教授ソロ・ミーティング
	20(金)	岩手県地域同窓会 卒業を祝う会・物好き者の集い
	20(金)	ヘルパーサークルCHANGE同窓会
	21(土)	東三河地域同窓会 卒業を祝う会
	21(土)・22(日)	石川県地域同窓会 能登半島地震復興支援事業 家族の漫画展・トークショー
	22(日)	静岡県地域同窓会 卒業を祝う会
	22(日)	岐阜県地域同窓会東濃東部支部 東濃東部地域同窓会
	22(日)	九州・沖縄ブロック 2025年度(第16回) 卒業お祝い記念大交流会in九州・沖縄
	22(日)	北信越ブロック 卒業を祝う会
3月	22(日)	北海道ブロック 卒業を祝う会
	22(日)	玉りん同窓会
	27(金)	昭和46年度卒大泉ゼミナール
	28(土)	関東ブロック 2025年度(第16回)卒業を祝う会
	28(土)	秋田県地域同窓会 通信学生との相談交流会と卒業を祝う会
4月	28(土)	福島県地域同窓会 卒業を祝う会
	28(土)	近畿ブロック 卒業を祝う会in関西
	4(土)	Ⅱ部 都丸ゼミ
	7(火)	神奈川県地域同窓会 春の鎌倉散策
	16(木)	あしあと
5月	18(土)	森靖雄ゼミナール同窓会
	28(火)	あいむの会
	2(土)	2025年度第4回常任理事会
	2(土)	岐阜県地域同窓会 茶話会・総会・親睦会
	3(日)	九州学ゼミ
	9(土)	2025年度第4回理事会
	9(土)	近畿地域ブロック つながる、はじまる。入学を祝う会&懇親会 in 関西
	10(日)	千葉県地域同窓会 文化講演会&総会
	10(日)	静岡県地域同窓会 文化講演会・総会・同窓生交流会
	10(日)	大阪地域同窓会 春の交流会BBQ
	16(土)	神奈川県地域同窓会 公開セミナー・定例総会
	16(土)	兵庫県地域同窓会 通信教育部生情報交換会「ゆるつな」
	23(土)	東京地域同窓会 総会&市民公開セミナー
	23(土)	井戸田セツルメント77入セツ会
	24(日)	徳島県地域同窓会 総会&講演会
	24(日)	三重県地域同窓会 北勢地域ブロック交流会
	30(土)	西三河／碧海地域同窓会 第8回 キャッチ同窓会
	30(土)	岡山県地域同窓会 異業種交流会in 岡山後楽園・旭川河川敷
	31(日)	埼玉県地域同窓会 総会&講演会
6月	6(土)・7(日)	児童福祉施設問題研究会同窓会
	7(日)	茨城県地域同窓会 茨城県地域同窓会のつどい
	7(日)	滋賀県地域同窓会 総会・交流会
	13(土)	明星会
	13(土)	代表者会議
	14(日)	ブロック代表者会議
	14(日)	山梨県地域同窓会 講演会・交流会
	16(火)	神奈川県地域同窓会 初夏の鎌倉散策
	20(土)	北海道地域同窓会 総会・懇親会
	20(土)	東三河地域同窓会 総会&懇親会
	21(日)	岐阜県地域同窓会 飛騨支部総会・講演会
	21(日)	近藤直子ゼミナール(1992年卒業生)
	26(金)	大阪地域同窓会 日本酒の会
	27(土)	秋田県地域同窓会 総会・講演会
	27(土)	高知県地域同窓会 集い
	27(土)	鳥取県地域同窓会 交流会・総会

2026年度 日本福祉大学セミナー・講演会のご案内

※開催日1ヶ月前に同窓会HPまたは後援会HPにて、概要、申込方法をご案内いたします。

開催日	開催地	会場	催事名	文化講演会
9月21日(月・祝)	静岡市	静岡労政会館 大ホール	日本福祉大学セミナー 講演会in静岡	演題:「ダウン症の娘(こ)と共に生きて～翔子とのこれまでのあゆみ～」 講師:金澤 泰子 先生(日本福祉大学客員教授)、 金澤 翔子 先生(日本福祉大学客員准教授)
11月14日(土)	函館市	はこだて湯の川温泉 花びしホテル コンベンションホール	日本福祉大学社会福祉 セミナーinはこだて	開催テーマ:地域で支える「ひきこもり」支援 誰もが地域で自分らしく暮らすために 基調講演:斎藤 環 氏(精神科医) 記念講演:菊池 まゆみ 氏(社会福祉法人藤里町社会福祉協議会会長) ※P.13をご参照ください。

第3回公務員交流会の開催について

国、地方自治体、警察、消防、保育など、様々な分野で活躍する現役の方、経験豊富なOB、OG、そして未来を担う公務員志望の本学学生が一堂に集まる交流会を開催します。

自治体や職種の枠を超えた「ヨコのつながり」を広げたい方も、母校の後輩にリアルな声を届けたい方も、ぜひお気軽に参加してください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時:令和8年10月17日(土)13時～15時
会場:名古屋キャンパス南館5階 501教室
申込方法:二次元コードよりお申し込みください
申込締切:令和8年9月30日(水)まで

大学近況

第27回半田キャンパス「七夕祭」を開催

七夕の恒例行事である半田キャンパス祭「七夕祭」が、7月4日（土）に開催されました。2025年度は半田キャンパスの開設30周年であり、新たに工学部が開設され、その時の七夕祭は「改築」が開催テーマでした。それを引継ぎ、2026年度は「発展」を掲げ、さらなる進化をめざして開催されました。

準備から開催までの運営を担った半田イベントオフィスに所属する14名の学生が実行委員となり、5時間に及ぶステージ企画と、16団体が参加した模擬店、展示・体験企画がにぎやかに進行し、当初の来場者目標300名を大きく上回る500名以上の参加を得ることができました。当日は午前中にオープンキャンパスが併催されたこともあり、その相乗効果として参加者が七夕祭を楽しんでくれたようでした。

企画は毎年人気のダンス、バンド演奏や大道芸が続ぎ、景品が楽しみなビンゴ大会で大きく盛り上がる一方、この暑さで心配される熱中症対策も丁寧に準備、呼び掛けがされ、今回も半田キャンパスらしい和気あいあいとしたアットホームな七夕祭となりました。



大学近況

アジア競技大会・アジアパラ競技大会出場内定選手の壮行会を開催

2026年9月から10月にかけて、愛知・名古屋を中心に開催される第20回アジア競技大会および第5回アジアパラ競技大会への出場が内定した在学生と卒業生選手の壮行会が、7月22日（水）に美浜キャンパスで行われました。

出場が内定しているのは、林愛望さん（スポーツ科学部4年・トライアスロン）、井戸夢翔さん（スポーツ科学部3年・パラ水泳）、岡島貫太さん（2025年度スポーツ科学部卒業、パラ水泳）の3名。決意表明で林さんは「日本で



32年ぶりに開催されるアジア大会が地元であり、それが自分の競技現役と重なる奇跡のような大会です。地元や大学関係者の皆さんの応援を力に金メダルをめざします」と力強く語りました。続いて井戸さんは「今年の2月まではケガに苦しみ、アジアパラ競技大会出場が危ぶまれましたが、全力で選考会に臨んで2大会連続出場を果たせました。前回、5位だった悔しさをバネに、皆さんの期待に応えたいと思います」と誓いました。最後に岡島さんは



全力で大会に臨む選手（左から林愛望さん、岡島貫太さん、井戸夢翔さん）

「今大会では50m自由形をはじめ6種目に出場します。前回大会ではメインの50m自由形で4位という結果でしたので、この地元の大会では負けるつもりはないという気持ちでリベンジを果たしてきます」と宣言し、会場の期待感が大きく高まるのが感じられました。

壮行会の会場となった美浜キャンパス・文化ホールには陸上部や水泳部をはじめ各種サークルの部員と学園教職員ら200名以上が集まり、選手たちにエールを送りました。同窓会からは岡島選手に花束と記念品・激励金を贈呈し、活躍に向けた支援を行いました。

サークル紹介

日本福祉大学学生生活

●軽音楽部

はじめまして!日本福祉大学軽音楽部です!

我々軽音楽部は多様な仲間と共に音楽を楽しみ、どんな人でも歓迎するというスタンスで活動しております。発足は2023年9月23日でまだまだ日が浅いですが、現在の部員は約50名で本学の中ではかなり多い部員を抱えています。軽音楽部の主な活動はLIVEです。LIVEは7月の新歓LIVE、学祭、クリスマスLIVE、春LIVEの4つがメインとなっています。しかし、外部団体さんからの誘いも多く受けており、昨年は東海市大池公園の桜まつり出演やキャンパスコレクションさんからの招待もいただいております。

最後に我々はどんな人も受け入れると謳っていますので経験者、未経験者問わず年中部員を大歓迎しております。また、同窓会の皆さまからのLIVE等のお誘いもお待ちしております。発足して間もないサークルですがご理解、ご支援をよろしくお願いします。



●心理学サークル

こんにちは!心理学サークルです。心理学サークルは2024年に発足し、2026年に公認サークルとなりました。現在は、心理学を楽しく学びながら、学年を越えて交流できる場を目指して活動しています。昨年度は、第73回福祉大学祭で「謎解き×心理学」の企画を実施したほか、有志で心理学検定という資格試験にも挑戦しました。

今年度は、オープンキャンパスへの企画参加や学会見学、裁判傍聴などのフィールドワークを取り入れ、実践的に心理学を学ぶ活動にも力を入れています。サークル内は学びと交流のバランスを大切に、意見を出し合いながら楽しく活動しています。また、大学院へ進学した先輩や就職したOB・OGの方から進路についてお話を伺う機会も設けたいと考えています。

先輩方との交流は将来を考えるうえでとても刺激になり、今でも大きな支えになっています。今後もご助言や交流を通して、サークルを見守っていただけたら嬉しいです。これからもメンバー一同、より充実した活動を目指して頑張りますので、心理学サークルをよろしくお願いいたします!



日本福祉大学災害ボランティアセンターについて

日本福祉大学災害ボランティアセンター

日本福祉大学災害ボランティアセンターは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を契機に発足しました。以来、被災地での災害支援活動をはじめ、地域における防災・減災活動や防災教育に取り組んできました。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、現地での支援活動や学生同士の交流が制限される時期もありましたが、オンラインでの会議や学習会を通じて活動を継続してきました。現在は、歴代の学生スタッフや卒業生の皆さまが築いてこられた活動の記録や想いを掘り起こし、次世代へつなぐことを大切にしています。また、能登半島地震をはじめとする自然災害の被災地支援や後方支援、地域の防災訓練や防災イベントへの参画にも取り組んでいます。

当センターは、学生と教職員が協働して運営する組織です。これからも「人と地域とのつながりを大切に」、被災地支援や地域防災活動に取り組んでまいります。卒業生の皆さまには、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



第38回 日本福祉大学
社会福祉セミナー inはこだて

日本福祉大学

地域で支える「ひきこもり」支援

誰もが地域で

参加費
無料

自分らしく

暮らすために

2026
11/14 土

10:00~16:30 [受付 9:30~]

会場・オンラインによる
ハイブリッド開催〈手話通訳あり〉

会場

はこだて湯の川温泉花びしホテル
コンベンションホール 芙蓉の間
北海道函館市湯川町1丁目16番18号

会場
定員

300名 事前申込制
対象 どなたでも

第1部 基調講演

「『ひきこもり』が問題視されない
社会となるために」

講師 つくばダイアログハウス
院長・精神科医 / 斎藤 環 氏



第2部 記念講演

「私たちが創る地域共生社会
～ひきこもり者等の活躍支援について～」

講師 社会福祉法人藤里町社会福祉協議会(秋田県)
会長 / 菊池 まゆみ 氏



第3部 パネルディスカッション

「地域共生社会の実現のために ～『ひきこもり』と地域福祉の展開～」

ファシリテーター

日本福祉大学 副学長(研究・連携)
大学院委員長
福祉社会開発研究科長
スタートアップセンター長 / 小松 理佐子 教授

パネリスト

NPO法人レター・ポスト・
フレンド相談ネットワーク ピアスタッフ / 大橋 伸和 氏
道南ひきこもり家族交流会
「あさがお」共同代表 / 安藤 とし子 氏
函館市地域包括支援センター連絡協議会 幹事 / 林 珠樹 氏

コメンテーター

社会福祉法人藤里町社会福祉協議会(秋田県)
会長 / 菊池 まゆみ 氏

※本セミナーの詳細や今後の変更等は、特設サイトをご確認ください。

申込方法

申込
締切

11/2月 17:00まで
(先着順)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

「日本福祉大学社会福祉セミナーinはこだて」
特設サイト内のフォームより申し込みください。

日本福祉大学社会福祉セミナーinはこだて

検索



特設サイト

|主 催| 日本福祉大学、日本福祉大学後援会、日本福祉大学同窓会、日本福祉大学北海道道南地域同窓会・北海道地域同窓会

|協 力| 日本福祉大学社会福祉学会、日本福祉大学東北地域ブロック同窓会、函館大妻高等学校

|後 援| 北海道、函館市、北海道教育委員会、函館市教育委員会、(福)北海道社会福祉協議会、(福)函館市社会福祉協議会、(公社)北海道社会福祉士会、(一社)北海道介護福祉士会、(一社)北海道精神保健福祉士協会、(一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会、(一社)北海道介護支援専門員協会、(公財)北海道民生委員児童委員連盟、北海道新聞函館支社、函館新聞社 (順不同)



社会福祉総合研修センター

研修サービスだけでなく人材採用支援（求職者支援）サービスも展開しています！

求人情報掲載サイト「FUKU+JOB」

福祉分野のお仕事と求職者を繋ぐ求人情報掲載サイト
「FUKU+JOB（ふくたすジョブ）」



アカウント登録は
こちらから！



- ・学生のみならず
 - ・就職・転職を考えられている社会人の方
 - ・パートやアルバイトをお探しの方
- などどんな方にもご活用いただけるサービスです！
アカウント登録は上記 QR コードから！
ぜひこの機会にアカウント登録して
福祉の仕事で活躍しましょう！

「FUKU+JOB キャリアフェスティバル」

“学ぶ”と“働く”を知れるふくしのキャリアの総合型イベント
「FUKU+JOB キャリアフェスティバル」



イベント HP は
こちらから！



2027 年 2 月の開催も予定！

- ・学生・就職・転職希望の社会人の方
 - ・ふくしの学びを深めた上で将来的に福祉業界に就職したい方
 - ・また就職は目指していないけどイベントには興味のある方
 - ・ふくしの仕事や業界に興味のある高校生
 - ・日本で就職を目指す外国籍の方
 - ・セカンドキャリアで地域や人の役立ちたいと考えている方
- など誰でもみんなご来場いただけます！

人材採用・定着・育成の新たなワンストップ支援サービス「Care Bridge」

／ 介護現場の **人材採用** **定着** **育成** を **ワンストップ** で支援します！ ／

人材採用支援

「FUKU+JOB（ふくたすジョブ）」
への**求人情報掲載が無制限**で
可能！人事担当・管理者向け
WEB セミナーも受講可能！！

国家試験対策支援

介護福祉士国家試験対策のオン
ライン動画と確認テストを提供。
全13科目・20時間以上の内容
で国家試験対策をサポート！！

人材研修支援

オンライン動画にて**日本人・外国**
人材向けの研修を支援！法定研修
や階層別研修、介護技術研修等、
動画は**計100時間以上**！！

1953 年の開設以来、数多くの福祉人材を
養成してきた学校法人日本福祉大学グループと、
訪問入浴介護事業のパイオニアで、
外国人材の受け入れや教育に高い実績を
持つ株式会社 ASCare（旧：アサヒサンクリーン㈱）
が協働し、介護現場の日本人・外国人材の
採用・定着・育成を支援します。

本サービスの
詳細はこちらから！



日本福祉大学 × ASCare

Care Bridge

ケアブリッジ



日本福祉大学

FUKUSHI ACADEMY

研究知と実践知を融合した現職教育の拠点

ここに「問い」がある、

ここに「人」がいる、

ここに「未来」がある。

Well-being for All

事業案内

里親支援センター等 人材育成プログラム



本年度もこども家庭庁の補助を受け

「里親支援センター等人材育成プログラム」を実施いたします。

4年連続の採択となる本事業では、里親支援センター職員等の専門性向上を目的に、オンデマンド講義と全国8都市10会場での対面演習を行う予定です。

また、「里親支援センター」の取り組みや里親支援に関わる人材育成をテーマとした「こども“どまんなか”フォーラム ～社会的養護と地域をつなぐ、これからの支援のかたち～」をヒルトン東京お台場で開催する予定です。里親が行う養育の質の向上及びこどもの生活の質の向上を図ることを目的とした「第三者評価機関職員研修プログラム」の開催も予定しております。これらの取り組みを通じ、支援体制の基盤強化に努めております。今後も里親支援をはじめとした社会的養護に携わる現任者を対象に、現場のニーズに応じた研修を継続的に実施してまいります。

未来へのふくし航路 Social Change Symposium



「未来へのふくし航路～ Social Change Symposium～」は、

日本福祉大学の教員を軸に、各分野の有識者を迎え、社会の変革をめざした対話と発信を行うことを目的としたシンポジウムです。

東京サテライト（有楽町）を中心に開催し、ふくしをめぐる今日的なアジェンダについて、提言にとどまらず、解決に導く糸口を参加者とともに考える場を創出しています。2026年度は、7月23日（木）に東海キャンパスで開催する特別回「『頼れる身寄りのいない社会と支援』を考える」を皮切りにスタートしました。今後も本学では、「未来へのふくし航路」を通じて、社会に開かれた対話と発信の場を継続的に創造していきます。

申込募集中

学校福祉オンデマンド

申込期間 **2026年12月31日まで**

さまざまな生きづらさを抱えたこどもたちを支援するため、こども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理に関わる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身に付けてもらうための講座です。オンデマンド講座は20講座！1講座からご受講いただけます！全20講座をセットで購入すると割引＆視聴期間の延長！さらに翌年度の履修証明プログラムの講義部分の受講免除も！



お問い合わせ先

日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 東京
TEL/03-5220-2825

日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 名古屋
TEL/052-242-3069

recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

FUKUSHI ACADEMY HP



日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 東京

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館 7 階
アクセス/JR線山手線・京浜東北線:有楽町駅 徒歩 1 分、
地下鉄 有楽町線:有楽町駅、銀座一丁目駅 徒歩 1 分



日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 名古屋

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35
名古屋キャンパス内
アクセス/JR鶴舞駅名大病院口より南へ徒歩1分、
鶴舞公園口より北へ徒歩2分

里親支援センター 設置促進等支援事業



本年度よりこども家庭庁から委託を受け

「里親支援センター設置促進等支援事業」を実施いたします。

本事業では、里親支援センターが未設置の自治体に対して、設置に向けた相談対応や助言を行うとともに、既に設置している自治体及び里親支援センターに対しては、運営力や支援力の向上などの機能強化を目的として、アドバイザー派遣による実践的なコンサルティング支援を実施します。

6 月には、本事業の概要を紹介する説明会を全国 5 都市（オンライン併用）で開催し、100 名を超える自治体及び里親支援センターの関係者にご参加いただきました。

また、コンサルティング支援に加え、全国の里親支援センター相互のネットワーク構築を目的とした情報交換会の開催や、各センターの取組に関する情報発信を通じて、里親等委託のさらなる推進と、里親家庭等への支援の質向上を目指した事業を推進していきます。

伴走型支援とは

～基礎講座とスクーリングから知る伴走型支援～



深刻化する「社会的孤立」に対応するため”つながり続けること”を

目的とした支援として生まれ、個人に対する支援であるとともに、

人を孤立させない地域社会の創造をめざす活動でもある「伴走型支援」。

その求められてきた背景、この支援で大切にされる理念や哲学、実際の支援や関連する政策動向などについて多角的に学べる講座が「伴走型支援基礎講座」です。同講座の講師である、奥田知志先生・向谷地生良先生、原田正樹先生の 3 名が語る「伴走型支援とは」動画を無料公開中。

是非、ご覧いただき、講座の受講をご検討ください。

こども家庭 ソーシャルワーカー研修

申込期間 追加研修のみ：2026 年 8 月 31 日まで

実務者の専門性向上を目的に設立され、児童福祉司やこども家庭センターの統括支援員などの任用資格の 1 つとしても位置づけられている認定資格「こども家庭ソーシャルワーカー」の受験資格を得るための研修プログラムを 26 年度も開催しています！

第 2 号ルートでの受講の方を対象とした追加研修は 8 月 31 日まで申込可能！





入学者ご推薦のお礼

2026年3月、第22期生1,233名が福祉経営学部を卒業されました。第1期～第21期の卒業生30,195名と合わせて、これまでに31,428名の方が本課程を卒業され、全国で活躍されています。そして、今現在、正科生2,777名、科目等履修生等433名の方にご出願いただきました。幼保特例制度対応プログラムにおいても701名が出願され、通信教育を活用した学習課程への出願者の合計は3,911名となりました。そのうち、皆さまのお力添えによる同窓生推薦制度により、229名の方々が出願され、同窓生ご本人様にも171名の方に出願いただきました。

ご推薦をしていただいた同窓生の皆さまにおかれましては、誠に有難うございました。あらためて御礼申し上げます。ご推薦いただいた方には些少ながらお礼の品をお送りさせていただきます。今年は肌触りがよく大きめの「ラージブランケット」

です。ひざ掛けや肩掛けに適したサイズ感で、季節を問わず冷え対策として備えられ、自宅や職場、車内などでの普段使いに大変便利です。ぜひご使用いただけますと幸いです。現在、福祉経営学部では全国で約6,000名の在学学生が、それぞれの目標に向かって学習に取り組んでおられます。今後も教職員一同、更なる教育の充実に向けて励む所存です。引き続き、本学ネットワークの発展のため、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



ラージブランケット



福祉経営学部長
杉本 浩章

学費等減免制度のご案内

大学同窓会員および専門学校・高校同窓会員による推薦を受けた方を対象にした、学費等の減免制度を設けています。

		一般学生	本学園 同窓会員の方 大学・短大・ 専門学校・高校	日本福祉大学に 1年以上在籍した方 または本学通信教育部科目等 履修生・特修生に在籍していた方	日本福祉大学 同窓会員の 推薦※を受けた方 (在学生からの推薦を含む)
入学選考料	正科生 科目等履修生 特修生	10,000円	無 料	無 料	無 料
入学金	正科生	30,000円		減免なし (10,000円)	半 額
	科目等履修生	10,000円			
		特修生	—		

推薦条件に ついて

1. 学習目標が明確で、学習意欲が高い方。
 2. 入学後も推薦者と連携をとり、日常的に学習や学生生活等のアドバイスが受けられる方。
 3. 卒業後は日本福祉大学同窓会へ入会し、推薦者と共に日本福祉大学同窓会の諸活動に積極的に貢献する方。
- ※通信・通学課程の在学学生(正科生)も同窓会員に含まれます。ただし、推薦者との同一年度の入学は対象としません。

⚠ 2023年度より、科目等履修生・特修生は登録料25,000円が必要となりました(減免対象外)。

TEAM福祉力で合格者数第1位を継続中

福祉経営学部では、毎年約1,000名が社会福祉士・精神保健福祉士国家試験を受験しています。国家試験に至るまでには、実習先の確保や実習受け入れ、実習巡回指導など、全国の同窓生の皆さまから多大なお力添えをいただいております。これにより、他学にはない全国でのソーシャルワーク実習が実現しています。

今回の国家試験は、合格点が大きく下方修正される「難しい」ものとなりましたが、本学部は社会福祉士、精神保健福祉士ともに大健闘しました。合格者数は、社会福祉士は578名(既卒者207名含)で18年連続、精神保健福祉士は80名(既卒者11名含)で16年連続、全国大学第1位を達成しています。

また、社会福祉士の新卒合格率は、全国合格60.7%、福祉系大学ルート新卒合格率78.4%に対して86.3%という好成績で、全国通信制大学第1位となりました。精神保健福祉士の新卒合格率は87.3%で、全国合格率78.2%、保健福祉系大学ルート新卒合格率73.7%を大きく上回っています。

国家試験での好成績は、資格取得のモチベーションの高い学生が集まり、社会経験などを活かしながら学習に励み、国家試験に向けての努力を続けてきた学生の実力によるものです。福祉経営学部では、オンデマンド授業を中心とするカリキュラム、オンラインでの科目修了試験などの学習の取り組みやすさや国家試験に準

ずる試験形式の工夫などで学修活動を支援しています。そしてなにより実習教育において全国の同窓生の皆さまからお寄せいただくご支援が大きな力となり、「TEAM福祉力として国家試験の成果に結実しています。

新卒業生の全国各地での活動に引き続きのご支援をいただくほか、在学生へのお力添えもお願いいたします。今後も、「社会福祉学を基盤とするソーシャルワーク専門職として人びととともに実践できる福祉士」養成に向けて、教職員一同、学生とともに前進してまいります。



福祉経営学部
(通信教育)
講師
明星 智美

《2025年度 第38回社会福祉士国家試験 結果》

合格者数**578名**(新卒371名、既卒207名)【18年連続全国大学第1位】

新卒者合格率**86.3%**(全国平均60.7%)

《2025年度 第28回精神保健福祉士国家試験 結果》

合格者数**80名**(新卒69名、既卒11名)【16年連続全国大学第1位】

新卒者合格率**87.3%**(全国平均78.2%)

※厚生労働省発表資料より

通信教育部生と同窓生の交流

北海道ブロック地域同窓会「卒業を祝う会」

開催日●2026年3月22日(日)
会 場●オンライン(Zoom)
参加者●16名

北海道ブロック主催による卒業生の門出を祝す「卒業を祝う会」をZoomにて開催しました。開会にあたり、北海道地域ブロック担当理事より本部奈良会長の祝辞が代読され、続いて北海道地域同窓会会長および道南地域同窓会会長から、前途を祝す温かなエールが贈られました。会は道南地域同窓会会長の円滑な司会のもと進行し、卒業生が近況や抱負を語る場面では、門出の喜びと決意が共有されました。太田先生からは慈愛に満ちた「はなむけの言葉」が贈られ、本部職員や北海道ブロック役員の紹介、活発な質疑応答も行われるなど、卒業後も続く同窓生ネットワークの強固な繋がりを実感する機会となりました。オンライン開催ながら、地域や世代を超えて絆を深める極めて有意義な会となりました。(文責 野辺地 一広)

関東ブロック地域同窓会「卒業を祝う会in関東」

開催日●2026年3月28日(土)
会 場●主婦会館プラザエフ(千代田区)
参加者●91名

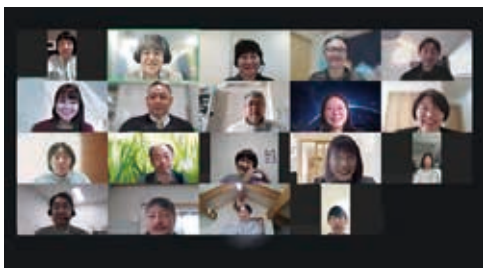
2025年度は、懇親会の形式を従来の「立食」から「着座」にして、初めて実施してみました。
反省会では、「食べ物を落ち着いて食することができる」「同じテーブル内で会話が深まる」等々、おおむね好評でした。食数と参加者の調整に気を使いますが、米年度も着座方式で実施という事になりそうです。新卒業生は29名が参加。一分間には収まり切れないほどの思いのたけを話され、いつもながら聞いていて感動いたしました。在学生の参加が10名あり、今後同窓会の力になってくれるものと頼もしく思いました。(文責 今井 芳明)



北信越ブロック地域同窓会「北信越地区卒業を祝う会&交流会」

開催日●2026年3月22日(日)
会 場●オンライン(Zoom)
参加者●24名

令和8年3月22日(日)午後、「北信越地区卒業を祝う会&交流会」をオンラインにて開催し、総勢24名が参加しました。同窓会本部の社古地副会長、大学の新川綾子先生、米澤直美先生ご出席のもと、学位記の読み上げが行われ、卒業生の晴れやかな表情に温かな拍手が送られました。奈良会長からも文書で祝辞をいただきました。
同窓生発表では石川県地域同窓会の馬渡徳子会長による能登の震災支援報告と、富山県地域同窓会の宮田隼さんによる「ひとのま」の活動紹介、交流会では近況報告と、充実した3時間となりました。(文責 関 好博)



近畿ブロック地域同窓会「卒業を祝う会in関西」

開催日●2026年3月28日(土)
会 場●梅田スカイビルタワーイースト(大阪市)
参加者●71名

2025年度近畿ブロック「卒業を祝う会in関西」には71名が参加し、新卒業生29名をはじめ、在学生1名、同窓生30名、教職員3名、大学関係者4名、新卒同伴者4名が集いました。世代や立場を超えて交流が生まれ、学びや現場での経験を共有しながら、新たなつながりを築く温かな時間となりました。それぞれの思いや学びを分かち合うことで、今後の福祉実践や地域での支え合いへと広がる意義ある会となりました。(文責 中村 康樹)



九州・沖縄ブロック地域同窓会

「卒業お祝い記念大交流会in九州・沖縄」

開催日●2026年3月22日(日)
会 場●福岡会場：福岡オフィス(福岡市)
沖縄会場：GRGホテル那覇東町レストラン(那覇市)
参加者●41名

第16回「卒業お祝い記念大交流会in九州・沖縄」を開催し、新卒業生20名が参加しました。今回も福岡会場と沖縄会場をオンラインで繋ぎ、二元同時進行での開催となりました。
大学から子安先生、明星先生に各会場に分かれてご出席いただき、ご祝辞や一人ひとりに学位記の授与をしていただきました。
新卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。今後は九州沖縄の同窓会でお会いできることを楽しみにしています。(文責 齊藤 武志)



福岡



沖縄

同窓生リレーずいそう

最初の卒業生が誕生してから71年…10万人を超える同窓会員が全国津々浦々で活躍されています。
卒業後、学生時代に仲が良かった友人や先輩・後輩と連絡が取れなくなってしまったご経験もあるかと思います。
本企画は各所属毎に現在の状況や思いをリレー方式で繋げていくことで、点を線で結びつけるものです。
ひょっとしたらこれがきっかけで、ご友人と再会できるかもしれませんね。

社会福祉学部



社会福祉学部 2010年3月卒業
久野 愛子 ★ 愛知県在住

出合いに感謝

卒業後は母子生活支援施設に入職しました。子育て経験も社会経験もなく、自分の非力さを痛感し、自信を無くす日々が続いていました。ですが、上司、先輩、同僚に恵まれ、また利用者さんからもたくさんの優しさや勇気をもらい、支援員としてではなく、人として素敵な人になろう!と少しずつ仕事に前向きになれたことを覚えています。

現在は生活困窮者自立支援事業の一つである就労準備支援事業に従事し、就労支援員として働いています。様々な生きづらさを抱える方たちとともに、“より良い明日”を模索し続ける日々です。

大学生活の思い出はたくさんありますが、中でも恩師との出会いは語りつくせません。決して優等生ではなかった私に対し、気長に見守り、叱咤激励をしてくださいました。今でもお世話になっています。この場を借りて、先生本当にありがとうございます!

これまでの出合いを大切に“より良い明日”に繋がっていくように、毎日楽しく過ごしたいと思います。

▶ 次回は、西澤 誉さんにバトンタッチします。

女子短期大学部



女子短期大学部 1989年3月卒業
田部 里美 ★ 佐賀県在住

「学びをやめない精神」をくれた場所

幼少期から保育士を夢見ると共に、自宅近くにあった障害児施設の存在をきっかけに、福祉への興味を深めていきました。専門的な場を求めている私が日本福祉大学への進学を決めたのは、ケースワーカーとして働く従姉の夫が、この大学の卒業生だったことです。『福祉を学ぶならこの大学がベストだ』というその勧めもあり、私の学生生活がスタートしました。同じ志をもつ仲間や先輩、熱心な先生方に恵まれて、本当に濃い時間を過ごせたなど感じています。卒業から35年以上も経ちますが、今でも母校との繋がりは続いています。研修や研究会などに参加すると、全国からたくさんの素敵な卒業生の方々にお会いできるのです。現場の第一線で活躍する皆さまの姿に刺激を受けるたび、「この大学を選んでよかったな」としみじみ思います。大学時代に培った福祉の精神や保育観、そして卒業してからも広がり続ける温かい繋がりは、私の大きな財産となっています。家族のかたちやあり方も変化する中で、子どもを取り巻く環境は厳しいものですが、保育士として何ができるかを日々模索しています。この「学びをやめない精神」こそが、日福で培われた私の原点なのだと感じ、心から感謝しています。ありがとうございます。

▶ 次回は、長谷 清美さんにバトンタッチします。

経済学部



経済学部 1991年3月卒業
市川 邦彦 ★ 群馬県在住

日本福祉大学に経済学部があるの？

「日本福祉大学に経済学部があるの?」それが、合格報告をしたときの予備校講師が発した第一声でした。元々、経済学部にしかり興味の無かった私は「合格おめでとう」の言葉を期待していたので、その失礼な言葉に対して、怒りにも似た感情を持ったものです。そして、4月になり、めでたく(?)日本福祉大学に入学し、勢和寮に入寮した私は、経済学部生として、勢和寮生としての生活をスタートすることとなりました。経済学部生としての4年間は、本当に刺激に満ちた日々でした。その中でも、中部圏の経済学部生がゼミ論文を発表し議論し合う「中部ゼミナール大会」への参加、東南アジア経済圏の実地調査を目的とした「タイ調査研究ツアー」、そして、4年間の学びの集大成である「卒業論文」が、私の経済学部生としての三本柱であり「やりきった感」の象徴です。 本当、経済学部は面白かったです。

同時に、4年間、勢和寮生でもあった私は、他学部(社会福祉学部I部・II部、女子短大)のみんなからも刺激を受け、卒業後、企業人に別れを告げた後の進路先として、介護職を選択することができました。これも、日本福祉大学経済学部生であり、勢和寮生でもあったからできたことなのでしょう。あ、そうそう……余談ですが、学生時代に始めた自主制作映画は、まだ続いています(笑)。

▶ 次回は、山田 真弥さんにバトンタッチします。

情報社会科学部



情報社会科学部 2007年3月卒業
崎瀬 直博 ★ 愛知県在住

繋がり

大学を卒業して約20年。本当にあっという間でした。若かった自分も今や仕事は管理職、息子は高校生、ちょっと走るとすぐに疲れる正真正銘のおじさんになってしまった。そんな私にとっても大学で過ごした時間は特別なものとして今の私に大きな影響を及ぼしています。

重度障がい者の訪問介護の仕事に就いて10年。本当に色々な人と出会いました。介護を行う上で技術や知識は大切ですが、それ以上に一人の人間としてどうやって人と接していくのか、信頼関係を築いていくのか、自分自身の「人間力」が試される場面が多く、未だに「あの時ああしていれば良かったかも」と後から思う事もあります。それでも「崎瀬さんが来てくれれば安心だ」「もっと家に来てくださいよ」、そんな言葉に支えられています。介護の仕事は一生を賭けるだけの価値ある仕事。それに気付かせてくれた日本福祉大学に感謝。ついでに多くの友達と現在の奥さんにも出会わせてくれた事にも感謝。

▶ 次回は、井上 聡さんにバトンタッチします。

福祉経営学部



福祉経営学部 2009年3月卒業
覚野 真平 ★ 神奈川県在住

大学がつないだ縁

2009年3月に卒業してから、早いもので十数年が経ちました。今は仕事に打ち込みつつ、三人の子どもたちと賑やかに過ごす毎日です。子育てと仕事に追われる日々は想像以上に慌ただしいものですが、学生の頃にはなかった心地よい責任感を感じながら、充実した時間を積み重ねています。

大学で学んだ専門知識が、今の仕事にそのまま生きているわけではありません。けれども、私の人生の土台は間違いなくあのキャンパスで育まれました。卒業後、大学の先輩の紹介で別学部の妻と出会い、今の家庭を築けたことも、大学がつないでくれた縁だと思っています。

今でも当時の仲間とは年に一度、一泊二日で集まっています。近況を語り合うその時間は、学生時代に戻ったような気持ちにさせてくれます。大学での出会いが今も自分を支えていると感じています。

通信教育部 福祉経営学部



通信教育部福祉経営学部 2013年3月卒業
上村 悦子 ★ 愛知県在住

出会いとつながり

振り返ると本学に入学してから早18年になる。当時、一般職だった私は仕事を片手にオンデマンドを受け、実習に行き、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格を取得した。スウェーデン研修にも行き、履修証明プログラムも二科目修了した。高校時代より勉強したと自画自賛しつつ、現在も地域学習会で学び続けている。

18年間、たくさんのお出合いがあった。当時の学内SNS (fuxi) の地域交流会や卒業後はPSW-net、訓覇スウェーデンセミナー、鷺野ゼミに参加し、様々なつながりができた。今まで学び続けられたのは、出会った同窓生とのつながりが大きい。仕事で困った時にあの人に相談しようと同窓生の顔が浮かぶことや相談を受けることもある。この出会いとつながりは私の大きな財産だと思っている。

そんなつながりの中で近い友人が、一足先に旅立った。いつも穏やかで、地域の精神保健福祉をより良くしたいと日々邁進していた。彼女との出会いに深く感謝したい。

▶ 次回は、中村 華子さんにバトンタッチします。

大学院



国際社会開発研究科 2025年修了
西木 まゆみ ★ ソロモン諸島在住

国際協力の現場を、近く遠くまなざす

40代も後半、JICA海外協力隊への参加と並行して国際社会開発研究科に就学しました。国際協力の現場への貢献をめざすには、20年にわたり携わってきた「植物を育てる」という経験を開発学の視点で捉え直すことが必要だと考えたためでした。

昼間はソロモンの人々と現場で汗し、夜は研究科の掲示板に向かい、早朝は修論執筆に取り組んだ院生生活。時にくじけそうにもなりました。しかし、豊富な知見・経験をお持ちの先生方と、世界中で進行形で活躍する院生仲間とのリアルでワクワクする議論が、私の研究と現場実務の双方を刺激し、励まし、育ててくれました。現場の真只中で汗することには自信があった私ですが、本研究科での学びから得たのは、自分自身を現場から一歩遠ざけ、熱を削ぎ落とすこと。クールに俯瞰し、分析し、省察を得るという視野の奥行きです。個人コンサルタントとして国際協力に携わる現在、現場を近く遠くまなざしながら奮闘しています。

▶ 次回は、瀧 祐介さんにバトンタッチします。

健康科学部



健康科学部 2014年3月卒業
墨田 智紀 ★ 愛知県在住

選んだ道を正解に

私は高校時代、サッカー中に離断性骨軟骨症という大きな怪我を負い、手術と約8ヶ月に及ぶリハビリテーションを経験しました。その過程で患者に寄り添い、回復を支える理学療法士の姿に惹かれ、この職業を志しました。

大学ではアルバイトや遊びに明け暮れましたが、人との関わり方を身につけることができました。そして卒業後は、当時手術を受けた病院に就職することができ、一つの大きな目標を達成できました。

就職後8年間在籍しましたが、次の挑戦をしたい、自分が培ってきた知識や技術をより幅広い分野で役立てたいと思い、さまざまな選択肢を考えた末に開業を決意しました。現在はスポーツケア・整体を中心に、お客様の身体づくりのサポートやスポーツチームのトレーナー活動に携わっています。

人生には多くの分岐点がありますが、その時々で自分なりに考え、選択してきた道が今に繋がっています。自分の選んだ道が正解だったと思うよう、学び続けながら挑戦を重ね、多くの方の力になれるよう邁進していきたいと思っています。

▶ 今回は、平野 雄大さんにバトンタッチします。

子ども発達学部



子ども発達学部 2019年3月卒業
中川 健太郎 ★ 三重県在住

それから

入学前は、これから始まる大学生活に胸を躍らせていましたが、入学してみると、知らない土地での生活、アルバイト、一人暮らしが始まり、最初は辛かったことを覚えています。でも、辛いことがあっても、友人や先生方に支えられ、実習や就職活動も、学部の仲間と一丸となって取り組み、乗り越えることができました。日本福祉大学は、福祉職を志す学生が多いこともあり、人の気持ちを思いやる優しい人が多いように思います。そんな環境で過ごしたことが、今の自分を形づくっており、私の原点となっています。私は、現在は福祉職として、主に生活困窮に陥っている方を支援しています。困難の背景には、経済的な問題だけでなく、家族関係や健康、就労、孤立など、さまざまな事情が重なっています。自分一人の力でできることは限られていますが、相手の背景を想像し、その人の立場に立って考える事、そして関りを途切れさせず共に歩むことを大切にしています。これは私生活においても大切にしたいと考えています。これまで関わってくださった大学時代の皆さまに、この機会を通じて改めて感謝を伝えたいと思います。またどこかで、皆さまと元気に再会できることを楽しみにしています。

▶ 今回は、竹内 裕人さんにバトンタッチします。

国際福祉開発学部



国際福祉開発学部 2014年3月卒業
塗師 悠 ★ 愛知県在住

かけがえない時間と繋がり

大学を卒業してから10年以上経ちました。卒業後、介護の現場で働いたこともありましたが、現在は会社の事務員として働いています。日々仕事に追われる毎日ですが、オンとオフの切り替えを大切に、週末はNGOのボランティア活動への参加、長期休暇は海外の世界遺産巡りなどをして充実した日々を過ごしています。大学時代は、国際交流イベントや海外研修に参加し、様々な外国人との交流を通じて、自分の視野を広げることができ、人との繋がりの大切さを学びました。また、イベント企画運営の手伝いやサークル活動にも参加し、楽しいことや辛いことの毎日でしたが、横との関わりだけでなく、上下との関りを通じて、自分自身を高めることができ、多くの仲間ができました。大学で得た繋がりは、卒業してからも連絡を取り、定期的に集まり、皆から元気をもらっています。次に皆さまと集まる時は、さらに進化した状態で会えることを楽しみにしています。

▶ 今回は、井上 真帆さんにバトンタッチします。

訃報

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

柴田 丈夫さん 1965年社会福祉学部／2026年3月ご逝去
石井 正男さん 1966年社会福祉学部／2025年9月ご逝去
鹿野 裕子さん 1970年社会福祉学部／2025年8月ご逝去
余米 博子さん 1972年女子短期大学部／2026年2月ご逝去

近藤 隆俊さん 1995年経済学部／2026年3月ご逝去
馬場 真理子さん 1997年社会福祉学部／2023年11月ご逝去
中川 崇美子さん 2012年通信教育部／2025年4月ご逝去

(卒業年次順)

宮城県地域同窓会

開催日●2026年3月7日(土)
会 場●仙都会館(仙台市)
参加者●15名

演 題：教育現場とソーシャルワーク

講 師：澤田 佳代 先生

総会には、東北地域ブロック理事、山形県地域同窓会会長、山形最上オフィス様に出席していただきました。総会終了後、福祉経営学部の澤田先生による講演会を開催しました。演題は「教育現場とソーシャルワーク」で、実践者として子供たちと実際に向き合ってきた経験から、支援の意義や現場に根差した実践のあり方についてご講演いただきました。

その後、懇親会に移り、山形最上オフィスより大学の状況報告をしていただいたほか、皆さまから講演会の感想や近況報告などを発表いただき、交流を深めました。

(文責 佐々木 孝基)



秋田県地域同窓会

開催日●2026年3月28日(土)
会 場●秋田県総合保健センター(秋田市)
参加者●14名

2025年度「通信学生との相談交流会・春の交流会」を開催しました。県内在学生をお誘いしての相談を兼ねた交流会は、地域同窓会として初めての試みでした。幸いにも2名の出席を得て、ワールドカフェ方式でグループに分かれて意見や相談を交えた交流となり、むしろ同窓生が感心し、学ぶ機会にもなりました。一方、卒業を祝う会の企画は申し込み者がなく、今回は「春の交流会」として3人の同窓生から話題を提供していただき、それぞれの活躍に感嘆する内容となりました。

その後の懇親会は、ギター付きの「うたごえ」で交流する楽しい機会となりました。

(文責 米谷 恭一)



福島県地域同窓会

開催日●2026年3月28日(土)
会 場●居酒屋太平山(郡山市)
参加者●6名

福島県地域同窓会は、3月28日に郡山の「居酒屋太平山」で初めて「卒業を祝う会」を開催しました。参加者は通信生1人と同窓生5人で、学位記をお渡しし、花束贈呈を行いました。

新卒生の方からは、「在学中はコロナの影響で誰とも繋がる事ができなかったが、この案内を見つけた時、やっと繋がれると嬉しかった」との言葉をいただきました。

今後も新しい出会いの場として、役員会と併せて卒業を祝う会を継続開催したいと思います。

(文責 花道 寛子)



茨城県地域同窓会

開催日●2026年6月7日(日)
会 場●茨城県南生涯学習センター(土浦市)
参加者●15名

演 題：地域共生社会を考える

～令和9年度施行 of 社会福祉法の一部改正を見据えた今後の展望～

講 師：浅石 裕司 先生

2年ぶりとなる茨城県地域同窓会のつどいを6月7日(日)に開催いたしました。浅石先生には、社会福祉法の改正について国の考えと現場のギャップを説明していただきながら、先進的に取り組んでいる自治体の活動を紹介していただきました。地域の中での活動には、課題だけでなく「楽しさ」についても注目していくことが大事であることなどを学ぶことができました。

(文責 橋本 大河)



栃木県地域同窓会

開催日●2026年3月14日(土)
会 場●ライトキューブ宇都宮(宇都宮市)
参加者●18名

演 題：被災者支援におけるソーシャルワークの役割とは

講 師：菊池 遼 先生

今年の同窓会では、菊池先生を講師にお迎えし、「被災者支援におけるソーシャルワークの役割とは」と題してご講演をいただきました。参加者は「自分たちの地域でもし災害が起きたら…」と話を真剣に聞き入っていました。その後の総会では、事業・決算および予算の審議、同窓会本部や関東ブロックの活動状況についての報告がありました。

例年2月に宇都宮市内で開催予定です。今回参加できなかった方も、次回のお越しを心よりお待ちしております。

(文責 金坂 尚慶)



埼玉県地域同窓会

開催日●2026年5月31日(日)
会 場●さいたま共済会館(さいたま市)
参加者●30名

演 題：ぜひ知ってほしい日本に生活する外国人としての想い

講 師：祖父江 カースティ 先生

5月31日(日)、さいたま共済会館において「埼玉県地域同窓会 定期総会」が開催されました。およそ30名の同窓生が参加され、提案された議案につきましては全会一致にてすべて可決されました。

同日開催された基調講演では、「ぜひ知って欲しい日本に生活する外国人としての想い」と題し、祖父江カースティ先生にお話をいただきました。「近くにいる人と仲良くする」ということについて、その可能性をご自身の立場から楽しく教授いただき、会場も笑顔が多く見られました。終了後には浦和駅周辺で懇親会も行われ、充実した1日となりました。

(文責 湯澤 剛)



千葉県地域同窓会

開催日●2026年5月10日(日)
会 場●千葉県社会福祉センター(千葉市)
参加者●40名

演 題: 成年後見制度の今後の展開

講 師: 古澤 肇 氏(ばあとなあ千葉 運営委員長)

2026年5月10日に千葉県社会福祉センターで、千葉県地域同窓会文化講演会および総会が開催されました。講演会では古澤氏が「これからの成年後見制度と権利擁護支援」をテーマに、民法改正による区分の一本化やスポット利用など、「管理」から「支援」へ移行する制度の解説をされ、家族や専門職によるチーム支援の重要性も共有されました。

総会では、2025年度事業報告、決算報告および会計監査、2026年度事業計画案、収支予算案の審議がなされ、すべて異議なく承認されました。総会終了後には、希望者と古澤氏を囲んで親睦を深めました。

(文責 木村 秀一)



東京地域同窓会

開催日●2026年3月15日(日)
会 場●東京聖新会
特養フロア田無(西東京市)
参加者●27名

演 題: 第1部「リハビリ専門職がいる“通いの場”の効果検証」
第2部「在宅医療・介護への新しい視点」
第3部「ソーシャルワーク・近未来の展望として」

講 師: 尾林 和子 元教授

2年前に退官された尾林先生が施設長を務める、社会福祉法人東京聖新会の「特養フロア田無」を会場に、「尾林先生ソロ・ミーティング」(ハイブリッド形式)を開催しました。西東京市の短期集中予防サービス(介護予防)の取り組みをはじめ、施設内のリハビリマシーンを早期無料開放した「Let's 朝活!」、分身ロボットの導入効果など、たっぷり3時間にわたり尾林先生の講義のシャワーを浴び続けました!

「人のぬくもりを侮ってはならない」という言葉の通り、定期的に学びのシャワーを浴びて自己研鑽していくことの大切さを改めて学びました。(文責 杉田 哲也)



神奈川地域同窓会

開催日●2026年4月7日(火)
会 場●鎌倉市内
参加者●13名

JR北鎌倉駅西口から最初に訪ねたのは、女人救済のお寺「東慶寺」でした。倉者や作家のお墓が多いお寺ですが、最近は四季の花が楽しめるお寺としても有名です。

次に訪ねたのは「浄智寺」。東慶寺と同じく臨済宗円覚寺派の禅寺です。鎌倉時代は七堂伽藍を備え、塔頭も11院ほどあったといわれ、その大きさは円覚寺に匹敵するものでした。境内ではシャガやヤマブキ、ニリンソウなどの花が私たちを迎えてくれました。

明月院に向かうあたりから雨が本格的に降り出しました。明月院は臨済宗建長寺派のお寺です。この日は、しだれ桜や海棠、紫モクレンやヤマブキが綺麗に咲いていました。最後に訪ねたのは鎌倉駅近くの妙本寺です。北条時政・義時親子によって滅ぼされた比企一族の屋敷跡に建てられた日蓮宗のお寺です。ソメイヨシノは終わり、海棠が満開でした。本堂の床に座り、空を見上げると時折ウグイスの鳴き声が聞こえて来しました。

(文責 片倉 博美)



東京地域同窓会

開催日●2026年3月7日(土)
会 場●登戸研究所資料館(神奈川県川崎市)
参加者●28名

旧日本陸軍が秘密戦(防諜・諜報・謀略・宣伝)のため、兵器・資材を極秘に研究開発していた登戸研究所。戦後、地域の歴史を調べようとした一般市民・教員・高校生たちの活動により、元所員の証言や手記に繋がり、史実の解明や研究所の保存運動へと発展して2010年に資料館が開館しました。戦争という目的のためには理性と人間性を喪失しかねないことを自戒するため、人道上・国際法規上問題のある兵器開発等を隔さず直視し、歴史的事実を語り継ぎ平和について考える、大変貴重な資料館であることを学びました。

(文責 葛西 なおみ)



東京地域同窓会

開催日●2026年5月23日(土)
会 場●東京サテライト
参加者●30名

演 題: 疲労回復と免疫力アップにつながる運動と食事

講 師: 山本 和恵 先生

2026年度定期総会・市民公開セミナーを東京サテライトで開催し、30名が参加しました。

総会の開会前には、災害支援募金の呼びかけと、3月に逝去された柴田顧問への黙祷を行いました。なお、募金は26,370円集まりました。総会後の市民公開セミナーでは、スポーツ科学部講師の山本先生をお招きし、疲労や免疫への理解を深めたうえで、心身共に健康であるための栄養・食事・運動など多岐にわたるお話を伺いました。

終了後、近隣の居酒屋で行われた懇親会には20名が参加し、山本先生を囲んで親睦を深めました。

(文責 葛西 なおみ)



神奈川地域同窓会

開催日●2026年5月16日(土)
会 場●福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜(横浜市)
参加者●104名

演 題: 医療・福祉分野における意思決定支援と多職種連携

講 師: 篠田 道子 名誉教授

公開セミナーでは、日本福祉大学名誉教授の篠田先生が「医療・福祉分野における意思決定支援と多職種連携」と題してお話されました。

意思決定支援は支援者が一人で行うものではなく、本人の意思を尊重し、多職種が協同で話し合いを繰り返すことを基本にしていること、しかし同時に、意思決定支援における支援の限界やジレンマ、バイアスについても理解することが必要だと強調されました。また、イギリスをはじめ諸外国の取り組みから、支援対象者である本人の価値観を尊重することの大切さを学びました。

参加者からは「意思決定支援の重要性を学びつつも、対応の難しさも感じました。」などの感想が寄せられました。定例総会には49名が参加し、2025年度事業活動報告と決算、会計監査報告、2026年度事業計画と予算、第5期3ヶ年計画の見直しなどが全会一致で承認されました。総会後の懇親会には、同窓生や在学生など45名が参加し、交流を深めました。

(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2026年6月16日(火)
会 場●鎌倉市内
参加者●13名

当日は夏日となりました。ぐんぐん気温が上がるなか、江ノ電鎌倉駅から最初に訪ねたのは、奈良時代に建てられた「長谷寺」です。「花浄土」と呼ばれるくらい花寺として有名です。今の季節は何といっても紫陽花。40種類、5,000株の紫陽花が植えられています。入場まで1時間待ちでしたが、綺麗な紫陽花に出会えました。

次に訪ねたのは「御霊神社」。この境内を抜けたところの路切は、電車と紫陽花と一緒に写せるフォトスポットとして有名な場所です。

この後訪ねたのは、成就院に続く参道の階段です。階段を登りながら振り返ると、由比ガ浜の絶景と手前の紫陽花が目に入ってきました。

最後に訪れたのは、極楽寺です。真言律宗のお寺で、鎌倉時代に忍性が開山しました。忍性はこの地に施薬院、悲田院、福田院ハンセン氏病舎などを設け、貧民救済事業に取り組みました。まさに福祉の原点です。

(文責 片倉 博美)



岐阜県地域同窓会

開催日●2026年5月2日(土)
会 場●ハートフルスクエア-G/
居酒屋すみ田(岐阜市)
参加者●18名

岐阜県地域同窓会の総会を、令和8年5月2日、ハートフルスクエア-Gの研修室50にて行い、18名が参加しました。

総会の中では、今年度の事業計画および予算等を確認しました。また、会計監査より監査報告を受け、令和8年度の活動計画と予算についての説明を行いました。

今年度より新たに「会計細則」を作成し、総会にて承認をいただきました。今後はこの細則に基づき、各支部への助成やイベントの補助等を適切に判断していけるよう、体制を改善することができました。総会終了後は、いつもの居酒屋へと場所を移して親睦会を行い、大いに親睦を深めました。

(文責 古川 健次)



静岡県地域同窓会

開催日●2026年5月10日(日)
会 場●レイアップ御幸町ビル(静岡市)
参加者●45名

演 題：地域経済とアントレプレナーシップから読み解く、経済活動～先進事例との対比から見えてくる身の回りの経済の現状と将来～

講 師：田上 敦士 先生

現在の静岡県における地域経済の課題について、前日に田上先生が静岡入りし、市街地を歩いて収集された生データなど、静岡県同窓会のために特別に作成していただいた講演内容は大変興味深く、参加者一同、真剣に聴講させていただきました。

また、地域経済の課題に取り組む他県の事例報告など、社会福祉関係の同窓生にもわかりやすい内容で、講演後には地域実践についてたくさんのアドバイスをいただき、大変充実した講演会となりました。

(文責 高林 重誓)



岐阜県地域同窓会 東濃支部

開催日●2026年3月22日(日)
会 場●ちこり村(中津川市)
参加者●25名

7年ぶりとなる地域同窓会を開催しました。総会後の交流タイムでは、役員から「AI時代の社会福祉」と題して話題提供がありました。その後、参加者から「福祉と私」「草木染めの機織りの世界を求めて」「小説は人の生きる道」などのテーマで、それぞれが打ち込んでいる実践についての報告がありました。

会の後半では、役員が出題する「日本福祉大学クイズ」で大いに盛り上がりました。参加者からは「気持ちが少しへこんでいたが、皆さまの話に感動した」という感想が寄せられ、とても温かで気持ちの明るくなる会となりました。

(文責 繁澤 正彦)



静岡県地域同窓会 西部支部

開催日●2026年2月15日(日)
会 場●HERMIT DOLPHIN(浜松市)
参加者●27名

当日は、自死遺族であり、発達・知的障害に向き合う佐々木浩則氏(語り)と裕一氏(即興ピアノ)の親子が登壇されました。二人の歩みや夢を叶えた物語が、温かい語りと美しいピアノの即興演奏で表現されました。

その後のティータイムでは、コーヒーを片手に同窓会をはじめ、地域の皆さまとともに「福祉=ふつうのくらしのしあわせ」について語り合う、有意義な交流の場となりました。

今年は裕一氏の30歳を記念し、日本全国でも「お話ピアノカフェ」を開催したいと考えられています。ご興味ございましたら、いつでも静岡県地域同窓会までお問い合わせください。

(文責 高橋 愛)



名古屋地域同窓会

開催日●2025年7月5日(日)
会 場●TKPガーデンシティPREMIUM
名古屋ルーセントタワー(名古屋市)
参加者●67名

演 題：次世代型福祉の創造
～人材育成・ICT活用・施設運営について～
：社会福祉領域の実践研究への取り組み

講 師：綿 祐二 先生

2025年度の集いは、名古屋駅近くの「TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー」を会場に総会・講演・懇親交流会を開催し、67名の方にご参加いただきました。

総会終了後の記念講演では、次世代型福祉の創造・これからの人材育成に向けて、先生ご自身の現場実践と研究活動を通して、今の日本における社会福祉界の課題をわかりやすく提起していただきました。非常に元気がもらえる素晴らしい講演でした。

続く懇親交流会は16階の眺めの良い会場で、名古屋の街並みを見渡しながら行われました。街並みをバックに記念写真を撮る参加者も見られ、新しい顔ぶれの方にも多くご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

(文責 鈴木 安夫)

西三河／碧海地域同窓会

開催日●2026年5月30日（土）
会 場●香楽 新城本店（安城市）
参加者●17名

今年も総会と「第8回キャッチ同窓会」の懇親会を、本部事務局長の刈田さんをお迎えして開催することができました。

刈田さんからは、アジア・アジアパラ競技大会が愛知県で開催され、学生と同窓生の方が出場予定であり、メダルの期待も大いにあるという心強いお話などがありました。同窓会としても積極的に応援していきたいと思います。また、今年度の「つどい」は安城市で市民公開福祉講演会を予定しており、より多くの方への参加を呼びかけていきたいと考えています。

総会の議事の後に
行われた懇親会では、若い世代の参加者もあり、各テーブルで大いに話が弾みました。

（文責 杉浦 達也）



東三河地域同窓会

開催日●2026年3月21日（土）
会 場●萬珍軒（豊橋市）
参加者●30名

3月21日（土）に、「2025年度卒業を祝う会&名刺交換会」を開催しました。

今回は、2025年度の卒業生と在学生（通信）をあわせて6名が参加し、例年以上に活発な名刺交換の場となりました。

通信の学生は個々に勉強しているため、卒業してしまうとそのまま学校との縁が切れてしまい、同窓会の活動を知らずに離れていってしまうがちです。そのため、この「卒業を祝う会」は、同窓会の存在と同窓生を意識してもらうための最適の場であると感じています。

今後も、同窓会活動へ参加してもらうための第一ステップとして、本会の開催を継続していきます。

（文責 中西 利博）



東三河地域同窓会

開催日●2026年6月20日（土）
会 場●種とよはし芸術劇場プラット&ホテルアークリッシュ豊橋（豊橋市）
参加者●38名

2026年度東三河地域同窓会総会と懇親会を、6月20日に開催しました。

総会では、昨年度の同窓会設立70周年記念事業の成功を中心に、活動報告を行いました。今年度は、従来通りの活動にプラスして、秋に開催される「アジア・アジアパラ競技大会」に参加する学生や同窓生を応援する企画を、承認いただきました。

懇親会では、幅広い年齢層の様々な職種の方々が集まり、驚きや笑いの中で、いろいろな情報交換が行われました。貸切時間があっという間に過ぎた懇親会でした。

（文責 中西 利博）



西尾張・南尾張地域同窓会

開催日●2026年5月23日（土）
会 場●木曾路津島店（津島市）
参加者●12名（西尾張6名、南尾張6名）

西尾張地域同窓会から6名、南尾張地域同窓会から6名の計12名が参加し、合同役員会を開催しました。

会議では、11月23日（月・祝）に開催予定の「講談で学ぶ福祉」のほか、年度末の「卒業生を祝う会」などについて話し合い、今後も尾張3地域が協力し合いながら、各種イベントの開催を継続していくという方針で一致しました。

議題の審議だけでなく、お互いの近況も報告し合いながら、終始和気あいあいとした楽しい交流の時間となりました。

（文責 伊藤 喜之）



南尾張地域同窓会

開催日●2025年5月24日（日）
会 場●津島市文化会館（津島市）
参加者●14名

西尾張地域同窓会の方々と、11月に行われる「70周年記念事業大同窓会」の企画および交流のために、ランチ交流会を開催しました。自己紹介や近況報告も兼ねて、日頃の仕事や同窓会の活動などについて語り合いました。大同窓会の企画については色々なアイデアが出されましたが、最終的に日本福祉大学らしい魅力的な企画案を練ることができました。

当日は、参加してくださった方に交通費助成やお土産をお付けして、「西尾張・南尾張地域同窓会に所縁のある方もない方も気軽に立ち寄っていただき、楽しく70周年を盛り上げましょう！」と約束し合い、とても有意義な時間を持つことができました。今後もこのような素晴らしい機会を継続して持てたらと願っています。

（文責 浅井 悦子）

滋賀県地域同窓会

開催日●2026年6月7日（日）
会 場●キラリエ草津（草津市）
参加者●19名

2026年6月7日にキラリエ草津にて滋賀県地域同窓会「総会」・「次年度のセミナーに向けて」（報告）・「交流会」が開催されました。総会では、決算・監査報告、予算・活動計画案等が承認され、新役員も選任されました。

次年度のセミナーに向けての報告では、2027年度に滋賀県で開催する「日本福祉大学社会福祉セミナー」について同窓会本部の職員の方より開催概要等お話をいただきました。

交流会では、自己紹介や近況報告で楽しい時間を過ごすことができました。参加人数が少なかったのですが、その分お一人ずつのお話を充分聞かせていただくことができました。

また、滋賀で初めてハイブリッド方式で開催をしました。Zoom参加の方々とウェブカメラで繋ぎ、雰囲気共有しながら進めることができたと思います。

（文責 嶋村 久美子）



大阪地域同窓会

開催日●2026年2月7日(土)
会場●道頓堀ホテル(大阪市)
参加者●20名

今年一年の抱負を語り合い、親睦を深めるため大阪同窓会では新年会を開催しました。遅めの新年会日程なのは、その前の週末が社会福祉士や精神保健福祉士の試験があるため、受験者も心置きなく出席できるよう配慮したためです。和食中華コース飲み放題3時間で、20名の参加者の自己紹介や語り合い、ビンゴゲームによる景品は全員あり、大いに盛り上がりました。来年も予定しておりますので、ぜひご期待ください。

(文責 倉町 健)



大阪地域同窓会

開催日●2026年5月10日(日)
会場●KNEADERS CAFE BAR GRILL(大阪市)
参加者●25名

開放的なテラス席でバーベキューを囲みながら、自己紹介や名刺交換が行われ、交流を深める有意義な時間となりました。

参加人数は、大人21名、高校生1名、小学生1名、幼児2名の計25名で、在学生や初めてイベントに参加してくださった方もおられました。医療・介護・福祉だけでなく、様々な場で活躍している同窓生も多く、参加者同士で仕事内容や地域活動に関する情報交換が行われたり、お互いの取り組みに理解を深めてエールを送り合ったりする場面も見られました。

在学生にとっては、世代や立場を超えた同窓会の繋がりを実感できる貴重な交流となりました。

(文責 前原 真弓)



和歌山県地域同窓会

開催日●2026年3月14日(土)
会場●アパローム紀の国(和歌山市)
参加者●8名

3月14日に和歌山県同窓会として、初めてケーキ交流会を開催しました。当日はとても良いお天気に恵まれ、爽やかで気持ちのいい一日となりました。

交流会では、仕事に関すること、家庭に関すること、将来の希望や趣味のことなど、いろいろなお話で皆でワイワイと楽しい時間を過ごすことができました。今回は大阪から遠路はるばる参加してくださった方もいて、大学同窓会の幅広い繋がりを感しました。

開催する側としては初めての試みでしたのでドキドキしっぱなしでしたが、無事に開催できて良かったです。大変ありがとうございました。

(文責 吉岡 範通)



岡山県地域同窓会

開催日●2026年5月30日(土)
会場●旭川河川敷 岡山後楽園そば(岡山市)
参加者●18名

5月30日(土)11:30~15:00、初夏の陽気を感じながら異業種交流会を開催しました。通信教育から社会福祉士を目指されている方、定年退職後、独立型社会福祉士事務所を開設された方、再就職準備中の方など幅広い分野の皆さま18名が集い、同窓生や通信生とあってすぐに仲良くなり、近況報告や情報交換などの話が弾みました。バーベキューは材料の手配から場所取り、片付けなど全て業者さんをお願いし身軽な会となりました。参加した子供たちは河川敷で虫捕りをしたり楽しんでいました。ご参加ありがとうございました。

(文責 米田 宣和)



広島県地域同窓会

開催日●2026年2月4日(水)
会場●丸海屋 広島紙屋町店(広島市)
参加者●23名

今回も大学入試が開催される時期に合わせ、令和7年度総会・懇親会を開催しました。

平日の開催ではありましたが、同窓生20名、在学生1名、大学職員2名の計23名が参加され、20代から70代までの幅広い世代が一堂に会しました。

近況報告では、それぞれが思い思いの話題を語り合い、終始和気あいあいとした雰囲気の中で交流が深まりました。懇親会を通じて、世代や立場を越えたつながりを再確認するとともに、この出会いが今後の業務や活動につながる大変有意義な場となりました。

(文責 池野 明子)



山口県地域同窓会

開催日●2026年1月17日(土)
会場●セントコア山口(山口市)
参加者●30名

今年度は同窓会設立70周年記念事業ということもあり、思いきって湯田温泉のホテルを会場に借りて、総会・大学近況報告・「静岡と鳥取セミナー&大同窓会」の参加報告会を開催しました。

その後、同じ会場にて引き続き懇親会を盛大に執り行いました。久しぶりに会う顔、初めて顔を合わせる仲間など、総勢30名の賑やかな参加者となりました。

大学関係者、同窓生、在学生が一堂に会し、昔話やこれからの取り組みについて大変美味な料理とお酒を交えながら語り合う時間はこれ以上ない素晴らしい交流となり、明日からのそれぞれの仕事や生活への英気を養うことができました。

(文責 吉木 伸行)



佐賀県地域同窓会

開催日●2026年2月14日(土)
会 場●ホテルグランデはぐくれ(佐賀市)
参加者●16名

演 題: 保育・子育てを豊かにするむずかしいアートの話 ver.2
講 師: 江村 和彦 先生

今年の同窓会は、2年ぶりの開催となりました。寒い時期での開催に関わらず、当日は10名を超える皆さまにご参加いただくことができました。

日ごろから社会福祉に関わる地域のつながりもあり、今回は県外からの参加者も交え、地域同窓生の交流がより一層促進されました。次年度も、地域同窓会のさらなる飛躍を目指して、総会・同窓会を企画してまいります。

なお、佐賀県地域同窓会では、年に4～5回の役員会を開催しています。同窓会活動を発展させ、一緒に楽しく活動して下さる仲間を随時募集しております！

(文責 唯松 直樹)



サイクリング部OB会

開催日●2025年12月6日(土)
会 場●さかなやま本場(名古屋市)
参加者●30名

創部45周年という節目を迎え、世代を超えてサイクリング部が今まで以上に繋がれるようにと、従来のハガキ案内から、LINEでの案内に移行しました。

開催場所は名古屋市内(中区)とし、全国各地より、初代部長をはじめ総勢30名の自転車好きの面々が集まりました。昔の合宿での出来事から、こだわりの自転車パーツ、現在の自転車、旅、家庭、仕事の話に花が咲き、年代を超え、楽しく・熱い交流の時間となりました。サイクリング部の拠点が東海キャンパスに移行予定とのことですが、美浜で培った輪を今後も大切に繋いでいけたらと思います。

(文責 彦坂 康弘)



KOBAZEMI85

開催日●2026年2月13日(金)～14日(土)
会 場●グランドメルキュール浜名湖リゾート & スパ(浜松市)
参加者●11名

毎年恒例の同窓会。2月13日から1泊2日。日程が決まったのは2ヶ月前。参加者11名と久々の10名超え。平日とか日程が決まるタイミングとか場所とか関係無いね！まずは浜松名物げんこつハンバーグでエネルギーを蓄え、オルゴールミュージアム、鎭山寺を経て、グランドメルキュール浜名湖リゾートへ。翌日は、説明をしてもらいながらうなぎパイ工場見学、浜松城、浜松餃子と浜松満喫旅。相変わらず途中で行方不明、座れば居眠りと自由人さも変わりなく、気楽な集まりで楽しめました。

(文責 坊岡 峰子)



プロジェクトW

開催日●2026年2月14日(土)～15日(日)
会 場●草津温泉・日新館(吾妻郡)
参加者●6名

バスで草津温泉へ！湯畑の圧倒的な湯けむりに迎えられ、源泉かけ流しの湯でリフレッシュ。夜は雪残る西の河原公園を散策し、幻想的な美しさに言葉を失いました。翌日は伝統の湯もみショーで草津らしさを体感。その後、話題の裏草津へと足を延ばし、静かな足場で至福のひとときを過ごしました。最後は定番の温泉まんじゅうをしっかりと買い込み、ホクホク気分で帰路へ。心もお腹も満たされる、最高に贅沢な親睦旅行になりました。

(文責 梅木 みさを)



A supple mind (サブルマインド)

開催日●2026年2月22日(日)
会 場●名古屋キャンパス他
参加者●23名

2月22日、認定同窓会として学習会および懇親会を開催いたしました。

学習会では綿先生に「福祉の源流を知り、潮流を考える～これからの障がい者福祉で大切なこと～」をご講演していただき、参加者一同学びを深めることができました。

その後の懇親会でも、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。地域学習会「綿ゼミin中部」から引き続き参加していただいた同窓生も多く、有意義な時間となりました。

今後も年1回程度の開催を継続していきたいと思っています。

(文責 代田 莉奈)



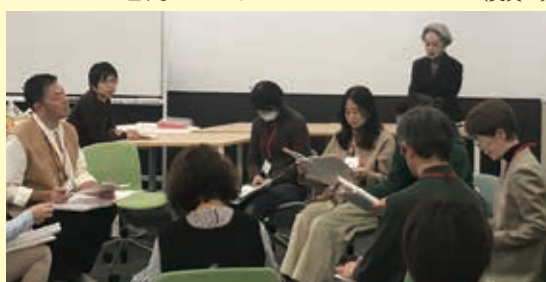
訓覇スウェーデン セミナー同窓会

開催日●2026年3月7日(土)～8日(日)
会 場●東海キャンパス
参加者●30名

訓覇スウェーデンセミナーは大学が承認する地域学習会でもあり、年3回、16年間継続する生涯学習の場でもあります。医療・福祉の現場や職場における対人関係の悩みを事例として全員が提出、事前に共有します。当日は役割演技やグループ討議でスーパービジョンを実施し、悩みや困難を見つめ、問題の本質を導き、信頼に満ちた人間関係をどう形成するかを学びます。

第40回は7件の事例を取り上げ、理論と演習を通して自我能がどう働いているか考えました。訓覇先生と会員の信頼関係のもと、学ぶ楽しさをかみしめた2日間でした。

(文責 数納 幸子)



歴代大谷ゼミ同窓会

開催日 ● 2026年3月14日（土）
会 場 ● 伍味西 なごのみせ（名古屋市）
参加者 ● 20名

今年度の大谷ゼミ同窓会では名古屋駅付近のお店にて対面形式のみの開催となりました。今回の幹事は15期生。卒業生、在学学生、大谷先生合わせて総勢20名の参加となりました。在学学生の参加が10名と例年よりも多く、社会に出てからの不安や期待を先輩方から学ぼうとする姿がたくさん見られました。卒業生も在学学生と話す機会はありませんが、若者のパワーをもらい、楽しむ姿が見られました。

今回も3月生まれの大谷先生の誕生日のお祝いで、15期生からケーキと名前入りボールペンをプレゼントさせていただきました。

満場一致での大谷先生のイメージカラー赤色のボールペンを大変喜んでいただき、とても有意義な会でした。

今後このような繋がりが無くならないように次回の企画者である16期生にバトンを渡しました。

（文責 堀崎 洋夢）



スポーツ研究会 枅中同窓会

開催日 ● 2026年3月14日（土）
会 場 ● サイプレスガーデンホテル（名古屋市）
参加者 ● 56名

昨今のライン普及と共に組織整備及び同窓会実施機運が高まり、8月に準備委員会が立ち上げられました。それ以来、地道に細い糸を手繰り寄せる様な動きの積み重ねの結果、なんとスポーツ研究会創設者で初代会長の大先生と繋がる事もできました。（入学も卒業も1960年代）

当日は1960年代当時の貴重なサークル設立の経緯等、初対面の先輩後輩問わずお互いに胸襟を開いてダイレクトなコミュニケーションが取れました。また全国から集結と言う事で各自の土地の名産を持ち寄りプレゼント交換会実施、懐かしい写真画像のスライドショー、更には70年代当時の貴重な8mm動画をDVD化したスライドショー等々、終盤には年齢70代以上の方々によるシニアソングショー（アカペラ）～団結踊りや、60代参加者によるスポ研の歌（1980年頃作成、リパブリック賛歌の替え歌）まで飛び出しました。会場の一角には当時のサークル機関誌、文集、スキー祭典（スポーツ研究会主催の学内スキーツアー）実施要項等に加え、大学同窓会会報他資料も展示され、とにかく最初から最後まで大盛況のままのあっという間の3時間でした。最後になりましたが、認定同窓会への導き～この度の大同窓会開催へのアドバイス等々、側面援助いただいた日本福祉大学同窓会事務局の皆さまに感謝申し上げます。

（文責 田中 雅彦）



ヘルパーサークル CHANGE同窓会

開催日 ● 2026年3月20日（金）
会 場 ● とうかい劇場（東海市）
参加者 ● 15名

今年度卒業した8名のサークルメンバーに花束を贈り、その後、同窓会結成祝いと在校生の卒業祝いを兼ねて、卒業式が行われた東海キャンパス近くのお店にて親睦会を開催しました。

今回の親睦会には結成時に集まってくれたメンバーを中心に卒業生3名、在校生2名も参加していただきました。同窓生の近況報告や卒業生のこれからの進路について等々、話のネタは尽きませんでしたが大いに盛り上がる事ができました。大学での出会いや学びを改めて実感した参加者が多く、卒業後も同窓会としてまた集まれたことに感謝しつつ今後も開催できる力を合わせていきたいと思いを共有しました。

（文責 進士 駿）



玉りん同窓会

開催日 ● 2026年3月22日（日）
会 場 ● 浦和スプリングレース（さいたま市）
参加者 ● 8名

2025年4月に発足した認定同窓会“玉りん同窓会”の記念すべき初めての活動日、ボーリング～ランチ飲み～お花見とワイワイ楽しみました。玉りん同窓会は、埼玉県に関連、関心を持つ有志が会員で、名前の由来は埼玉の玉と埼玉県ブランドイチゴ“あまりん”の「りん」です。ボーリングはハイタッチで盛り上がり、ランチ飲みはテーブル

いっぱいのお料理をパクパク食べまくりながらおしゃべりが尽きず、お花見はさいたま市で有名な玉蔵院の枝垂れ桜を愛でました。笑顔と桜が咲き乱れ、華やかでした。

（文責 山下 圭子）



昭和46年度卒大泉 ゼミナール

開催日 ● 2026年3月27日（金）
会 場 ● 琉球海鮮リーさん堂（那覇市）
参加者 ● 6名

“今回は那覇空港で会いましょう”が実現しました。春休みとあって家族での参加もあり、賑やかでした。当日は10時間かけて観光バスで島内巡り。広大な普天間基地を横目に、学生時代にベトナム戦争反対や沖縄を返せと叫んでいた事やノーパワリとも渡すまいと歌っていた事を思い出します。今回幹事のガンさんの馴染みの沖縄料理店で大泉先生やゼミ会の事、近況報告をしましたが、次回は会員の出身地である富山県での開催を決めました、全国各地から学生が集まった日福大ならではのゼミ会となっています。

（文責 國澤 貞廣）



Ⅱ 部都丸ゼミ会

開催日 ● 2026年4月4日（土）
会 場 ● COMO（名古屋市）
参加者 ● 11名

4月4日、ランチで全国から集まっていた、楽しく和やかに進めました。

都丸先生の奥様も最後だからと参加していただきました。同窓生も全国からも久しぶりのゼミ会だから、奥様にお礼を直接言いたいと参加していただきました。当日は11名の参加。本場で開催しましたが、最初のところでお孫さんやひ孫さんの挨拶がありました。当日は、あいにくの雨でした。あと2回はゼミ会を開きたいと思っております。

（文責 工藤 尚子）



あしあと (1970年度入学1年クラス)

開催日●2026年4月16日(木)
会 場●ルブラ王山(名古屋市)
参加者●12名

コロナ禍で中断を挟んで今回で10回目の開催になりました。皆さまの成長(老化)にあわせて会場はここ数年同じ場所で迷子の防止に配慮しています。今回は体調を崩しての欠席があってお見舞いの色紙をおくることになりました。95歳になられた福田先生は今年もお元気で出席くださり元学生一同は圧倒されていました。翌日は中村公園で開催中の大河ドラマ館を見学して解散となりました。また来年会いましょう。

(文責 水野 誠)



あいむの会

開催日●2026年4月28日(火)
会 場●サイプレスガーデンホテル
(名古屋市)
参加者●21名

昨年に続き、今年3月に退職、昇任された園長先生、現役、OBの先生方あわせて21名が集まり、交流会を開催しました。限られた時間の中で、お一人お一人が近況報告や仕事に対する思いなどを話されました。退職された先輩方からは生き生きと過ごされているお話をお聞きし、前向きな気持ちと勇気をいただきました。改めて母校の素晴らしさと同窓生同士の温かいつながりを感じた貴重な時間でした。今後も、あいむの会の交流を大切にしていきたいと思います。

(文責 朝熊 智子)



井戸田セツルメント 77年入セツ会

開催日●2026年5月23日(土)~24日(日)
会 場●ホテル万清楼(那智勝浦町)
参加者●10名

昨年に引き続き2年連続の開催となった今回は、一泊二日での那智勝浦温泉と熊野古道満喫の同窓会です。遠方にもかかわらず、10名の仲間が集うことができました。

初日の午後は、波打ち際の迫力ある露天風呂で体の疲れを癒し、夜はおいしい新鮮な海鮮料理とお酒、一人ひとりに引きで決めた「お題トーク」での楽しい話で、胃袋も心も満たされあつという間の一日目でした。

二日目の午前中は、小雨でしたが大門坂から熊野古道を巡りました。那智の滝は水量も多く迫力満点。那智大社ではメンバーの健康と平和を祈念しました。

(文責 中根 俊行)



森靖雄ゼミナール同窓会

開催日●2026年4月18日(土)
会 場●東海キャンパス
参加者●10名

この度、20回目の森ゼミ同窓会を開催することができました。毎年4月の第3土曜日に日本福祉大学東海キャンパスで開催しております。卒業してから随分時が経ちましたが、ゼミ旅行の話や学生時代の話で盛り上がりしました。7月で91歳を迎えられる森靖雄先生は本当にお元気で、学生時代と変わらず私たちに活力を与えてくださいました。

来年の森ゼミ同窓会は、2027年4月17日(土)10時から日本福祉大学東海キャンパスで開催予定です。ぜひ多くの方々にご参加いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

(文責 大田 清香)



九州学ゼミ

開催日●2026年5月3日(日)
会 場●北九州市内(観光バスツアー)
参加者●7名

5月3日憲法記念日、ランチでおしゃべりを堪能した後、北九州市内観光オーブントップバスに乗りしました。今回は、若戸大橋コースをチョイス。残念ながら雨のため、幌ありのバスになりましたが、北九州の工業地域、風力発電装置の巨大な風車を見学。素敵なガイドさんの想定外のアナウンスで笑いの絶えない時間でした。平和のまちなみミュージアムでは平和のありがたさを痛感。日常生活を忘れて、気の合う仲間と過ごすGWのフィールドワークは元気の源。次はどこに行こうか今から楽しみです。

(文責 村井 麻木)



児童福祉施設問題研究会 同窓会

開催日●2026年6月6日(土)~7日(日)
会 場●新鉛温泉愛隣館(花巻市)
参加者●17名

2012年に初開催してから、コロナ禍で途絶えていた同窓会を岩手で開催しました。2日間で希望の多かった宮沢賢治記念館と国宝「中尊寺」で興味深い学びをしました。宿のご厚意の迎いのバスに揺られながら、45年の空白を埋めようと語り合い、バスは割れんばかりでした。宿で温泉に浸かった後は、大宴会。45年ぶりに再会した先輩方の生きてきた足跡に感動し、笑いあり、涙あり。その熱気はとどまることなく2次会へと突入しました。オプションの栗駒山では、森林インストラクターの方にアメリカ発の熊対策を学びました。

(文責 小出 香代子)



明星会 (日本福祉大学大学院 中島・若山ゼミ同門会)

開催日 ● 2026年6月13日(土)
会 場 ● 名古屋キャンパス
参加者 ● 29名

フォーラム10・東海ヘルスケアマネジメント研究会・明星会合同研究発表会(修論研究報告及び特別講演)を開催しました。特別講演では、講師として社会医療法人志聖会総合犬山中央病院 院長・齊藤雅也先生をお招きしました。齊藤先生には、「BSCによる病院マネジメント～患者良し・スタッフ良し・病院良しを目指して～」と題してBSCに取り組む基本理論についてご自身の体験を交えながら長時間に亘り熱く語っていただきました。

講演会終了後、「明星会」事務局にて総会を開催し、今後の「明星会」の活動への参加・協力を呼びかけました。

(文責 宮田 隆)



近藤直子ゼミナール (1992年卒業生)

開催日 ● 2026年6月21日(日)
会 場 ● 名古屋キャンパス
参加者 ● 8名

毎年恒例の同期会。なぜか私たち当事者以外の方々も、開催報告を楽しみにしてくださっているとか。今年も万障繰り合わせ8名と近藤直子先生で集まりました！

昨年の大同窓会からの約束で、「できなさ」について直子先生にお話ししてもらいました。うなづいたり、笑ったり、考えさせられたり。自分のこと、自分たちが関わっている方々のこと、いろいろな思いはせながら聞いて、あっという間の5時間。いつものことながら終わるころにはみんな笑顔。みんな元気が出て、また来年～(@^^)/～～と手を振って別れました。

(文責 川田 優子)



。同窓会員・大学教職員からの寄贈図書



「さいしょの一步 浅賀ふさ物語」
学園創立70周年記念ラジオドラマの書籍化

●著 者: 鹿目 由紀
■発行所: 風媒社(2026年発行)
定価1,500円+税



「自治公民館と社会福祉協議会とが綾なす地域福祉実践
都城市社会福祉協議会の取り組み」

●執筆者: 大田 勝信(1991年社会福祉学部卒)
川崎 順子(1983年社会福祉学部卒)
山崎 睦男(1981年社会福祉学部卒)他
■発行所: ミネルヴァ書房(2026年発行)
定価2,800円+税



「裸の山」

●著 者: 督永 忠子(2017年国際社会開発研究科修了)
■発行所: 合同出版社(2026年発行)
定価1,600円+税



「日本の近世と社会福祉
『子ども・老人・障害者と公的救済』への支援組織制度」

●著 者: 小椋 喜一郎(元日本福祉大学教授)
■発行所: 敬文舎(2025年発行)
定価12,000円+税



「改訂 精神・発達・知的障害がある人の経済的支援ガイドブック」

●著 者: 青木 聖久(日本福祉大学教授)
■発行所: 中央法規(2025年発行)
定価:3,600円+税



「2020 改訂
保育教師2級資格取得のための教科目標準教科概要」

●訳 者: 勅使 千鶴(日本福祉大学名誉教授)他
■発行所: ひとなる書房(2025年発行)
定価5,000円(税込)



「児童養護施設の労働問題
子ども・職員双方の人権保障のために」

●著 者: 堀場 純矢(日本福祉大学教授)
■発行所: ミネルヴァ書房(2025年発行)
定価:6,500円+税



「ひとり暮らし
認知症高齢者の『暮らし』を考える
継続と限界のはざままで」

●著 者: 中島 民恵子(日本福祉大学教授)他
■発行所: クリエイツかもがわ(2025年発行)
定価:2,200円+税

日本福祉大学大学院

1969年に、日本で初めて「社会福祉学」の名称を持つ研究科を開設し、5研究科8専攻を設置しています。医療、福祉、教育の現場や行政機関、国際機関等で働く社会人を中心とした約250名の大学院生が高度な研究に取り組み学びを深めています。

大学院改革の取り組みのひとつとして、本学が連携及び協力に関する協定書を締結した国立長寿医療研究センターとタイアップした大学院共通科目を2025年度より開講しています。

◆ 修士課程 ◆ 標準修業年限2年

通 学 課 程	
【2027年4月開設】社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	社会福祉学研究科 心理臨床専攻
東海キャンパス ※通学課程 授与学位：修士（社会福祉学）	名古屋キャンパス ※夜間制 授与学位：修士（心理臨床）
◇昼夜開講制やオンライン授業の活用、社会福祉学専攻（通信教育）科目の履修も一部可能とする「通信・通学融合型」を採用した新たな専攻が2027年4月に誕生します。 ◇福祉現場での実務経験を「強み」として研究に昇華できるよう実証的研究の手法を重視した指導体制を整えており、福祉現場の変革をリードする人材を養成します。	◇名古屋キャンパスでの平日夜間および土曜日（集中講義など）の開講により（学内・学外実習を除く）、働きながら修学が可能です。 ◇（公財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校として認定を受けているため、修了することで臨床心理士資格試験の受験資格を得ることが可能です。 ◇公認心理師法で定める大学院における必要な科目を開講しています。
看護学研究科 看護学専攻	スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻
東海キャンパス 授与学位：修士（看護学）	美浜キャンパス 授与学位：修士（スポーツ科学）
◇一人ひとりの学びの目的やキャリアステップに合わせ、「研究コース」と「地域共生看護コース」の2つの柱で構成しています。 ◇新たな「地域共生看護コース」では、実践現場の課題を学術的に分析し、多職種と連携しながら地域を牽引するリーダーを育成します。 ◇個々に応じた学習プログラムを組み立てることが可能です（1年履修、長期履修、オンデマンド、ハイブリッド授業等）。	◇スポーツ科学に関わる理論の探求と研究により学際的かつ実践的な研究成果を構築し、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人の養成をめざします。 ◇美浜キャンパス「SALTO」の各種実験室をはじめ、充実した演習・研究環境です。 ◇長期履修制度、オンライン授業など社会人・遠方者も学びやすい環境が整っています。
通 信 課 程	
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（通信教育）	国際社会開発研究科 国際社会開発専攻（通信教育）
授与学位：修士（社会福祉学）	授与学位：修士（開発学）
◇講義・演習は、インターネット上の掲示板を中心に開講し、社会人も時間を有効活用しながら修学可能です。 ◇週末を利用したスクーリング（対面）を、年4～5回実施しています。 ◇質の高い修士論文執筆に向けたきめ細かな指導体制を整備しています。 ◇医療・福祉・教育分野を中心に、20～70代まで幅広い年代の方が在学しています。 ◇全国に広がる在学生・修了生のネットワークを有しています。	◇インターネットを活用し、いつでも世界中のどこからでも大学院の学びに参加することができます。各国の開発現場で働く社会人にとって学びやすい大学院です。 ◇多様な背景を持つ異なる世代の社会人が在学。オンライン上でのやりとりやスクーリングを通して、院生同士、そして教員や修了生ともつながりを持つことが可能です。 ◇日本、フィリピン、インドなど国内外でスクーリングを実施します。

◆ 博士課程 ◆ 標準修業年限3年

通 学 課 程	通 信 課 程
福祉社会開発研究科 社会福祉学専攻	福祉社会開発研究科 国際社会開発専攻（通信教育）
名古屋キャンパス 授与学位：博士（社会福祉学）	授与学位：博士（開発学）
社会福祉の専門研究者として自立して研究を進めることができる能力を養い、将来、社会福祉研究・教育の中心的な担い手となる人材の養成を目指すとともに、社会福祉の現場で社会福祉学を基盤とする高度な研究能力、指導力を備えた専門職業従事者として関連領域の専門職と協働して活躍できる人材の養成を目標としています。	世界中からアクセスできる通信制大学院として、高い成果を認められてきました。教員スタッフには社会開発分野の現場出身の研究者を多く擁し、海外の有力拠点大学や各地のリソースパーソンとも提携するネットワーク型の指導体制が築かれています。社会開発・開発教育の専門家を育成できる高度研究者・指導的専門家の育成を目指しています。

※医療・福祉マネジメント研究科および福祉社会開発研究科 福祉経営専攻は、学生募集を停止しました。

【入学試験について】

修士課程（※）は毎年11月・2月に、博士課程は2月に入学試験を実施します。詳細は大学院ホームページをご覧ください。

※社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（通信教育）は2月のみ



資料請求・お問い合わせ先

【福祉社会開発研究科／社会福祉学研究科／国際社会開発研究科】

名古屋キャンパス TEL：052-242-3050 E-Mail：injim@ml.n-fukushi.ac.jp

【看護学研究科】

東海キャンパス TEL：0562-39-3811 E-Mail：kango-g@ml.n-fukushi.ac.jp

【スポーツ科学研究科】

美浜キャンパス TEL：0569-87-2322 E-Mail：sp-g@ml.n-fukushi.ac.jp



日本福祉大学の就職支援について

2025年度 卒業生の進路・就職結果

2025年度（2026年3月卒採用）の全国大卒求人倍率は1.66倍であった。前年度（2025年卒）の1.75倍より0.09ポイント低下し、コロナ禍後の上昇傾向から4年ぶりに低下に転じた。従業員規模別に求人倍率を見ると、300人未満企業は8.98倍（前年6.50倍）と2.48ポイント大幅に上昇し、2019年卒以来の極めて高い水準となっている。一方で、300～999人企業は1.43倍（前年1.60倍）、1,000～4,999人企業は1.05倍（前年1.14倍）と低下し、5,000人以上企業は0.34倍（前年0.34倍）で横ばいとなった。

2019年度から同窓会と大学の共同事業として「Uターン就職支援制度」を始め、地方出身学生のUターン就職活動に係る費用の一部を援助しています。一人でも多くの学生が将来につながる就職・進路を決定できるよう支援を行っていきます。

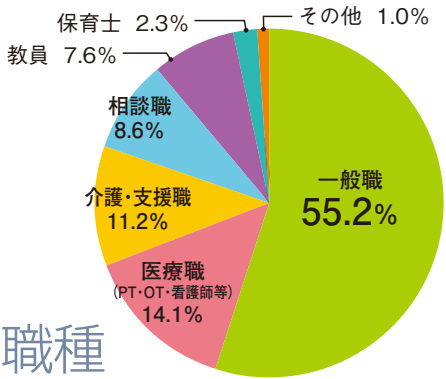
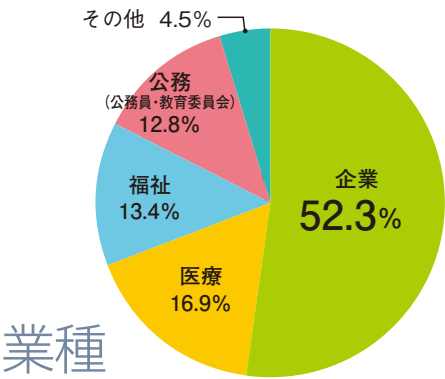
【2025年度卒業生と過年度卒業生の就職実績】

年度	2023年度	2024年度	2025年度
本学卒業生数 (A)	1,316名	1,230名	1,124名
就職希望者数 (B)	1,237名	1,167名	1,060名
就職決定者数 (C)	1,212名	1,131名	1,043名
進学決定者数 (D)	33名	25名	23名
卒業生就職率 (C) / (A)	92.1%	92.0%	92.8%
就職希望者就職率 (C) / (B)	98.0%	96.9%	98.4%
卒業生進路決定率 [(C) + (D)] / (A)	94.6%	94.0%	94.8%

【2025年度卒業生の学部別就職実績】

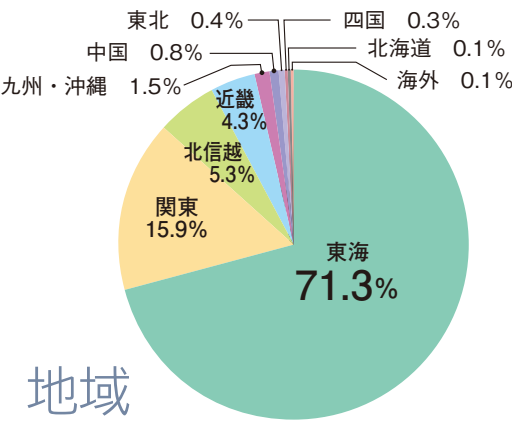
学部	就職希望者数	就職者数	就職率
社会福祉	266	264	99.2%
経済	176	176	100.0%
国際福祉開発	52	46	88.5%
教育・心理	178	170	95.5%
健康科学	154	154	100.0%
看護	83	82	98.8%
スポーツ	151	151	100.0%
本学全体	1,060	1,043	98.4%

【2025年度卒業生の就職先業種・職種】



【2025年度卒業生の就職先都道府県(本社都道府県)】 ※本社所在地でカウント

区分	人数	区分	人数	区分	人数	区分	人数
北海道	1	東京	149	滋賀	2	香川	1
青森	1	神奈川	12	京都	6	愛媛	0
岩手	0	新潟	3	大阪	29	高知	2
宮城	1	富山	9	兵庫	6	福岡	8
秋田	0	石川	8	奈良	2	佐賀	1
山形	2	福井	11	和歌山	0	長崎	1
福島	0	山梨	0	鳥取	1	熊本	0
茨城	0	長野	24	島根	0	大分	3
栃木	0	岐阜	51	岡山	4	宮崎	0
群馬	0	静岡	21	広島	3	鹿児島	1
埼玉	1	愛知	643	山口	0	沖縄	2
千葉	4	三重	29	徳島	0	海外	1



日本福祉大学通信教育部(福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科)のご紹介

第38回(2025年度)社会福祉士国家試験結果において、**18年連続全国大学第1位**となる578名(新卒:371名 既卒207名)の合格者が本学通信教育部から誕生しました。これは全国の全ての社会福祉士を養成する大学の中で第1位となる実績です。

また、2025年度新卒者の合格率においても86.3%と全国平均(60.7%)を大きく上回りました。資格取得はひとつのゴールですが、現場で社会福祉士として活躍するスタートラインに立ったとも言えます。本学では「資格取得後」も見据えた現場で活躍するための専門職養成を心掛けています。これから資格取得をめざす方は、ぜひ志の高い仲間と一緒に本学で学んでいただきたいと思います。

■ 日本福祉大学通信教育部の特徴！

- ① 学歴に応じた学年からの編入が可能です。
- ② 過去に本学で修得した単位は一部科目の個別単位認定が可能です。※1
- ③ 相談援助業務の実務経験が1年以上ある方は社会福祉士もしくは精神保健福祉士現場実習の免除が可能です。※2
- ④ インターネット学習とスクーリングの組み合わせで自分のライフスタイルに合わせて単位修得が可能です。
- ⑤ オンデマンド科目はスマートフォン・タブレットでも視聴が可能です。
- ⑥ スクーリングは忙しい社会人の方に合わせて、北海道から沖縄まで全国主要都市およびオンラインで土・日の2日間に開講します。



24時間好きな時間に受講でき、何度も繰り返し視聴できるオンデマンド学習

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす
「認定心理士」好評開講中！

2026年度 **900名以上**が入学！！

※1 個別単位認定は科目内容の審査が必要のため、認定を希望する場合は出願前に「個別認定申請書」を出願書類とあわせてご提出ください。

※2 出願時に「実務経験証明書」の提出が必要になります。詳しくは「出願手続要項」をご覧ください。

日本福祉大学中央福祉専門学校

介護福祉士科 ・ 社会福祉士科通信課程 ・
言語聴覚士科 ・ 精神保健福祉士短期養成通信課程

日本福祉大学中央福祉専門学校は1989年(社会福祉士・介護福祉士国家試験第1回実施年)に開設された、一般養成施設です。社会福祉士・言語聴覚士・介護福祉士・精神保健福祉士をめざす方に、ぜひお声を掛けてください。

■ 日本福祉大学中央福祉専門学校の特徴

- ① 様々な国家試験対策で高い合格率を達成！
第38回社会福祉士国家試験合格率は(※全国平均60.7%)
【社会福祉士科】 **80.2%**
第38回介護福祉士国家試験合格率は(※全国平均70.1%)
【介護福祉士科】 **92.5%** (日本人学生100%)
第28回精神保健福祉士国家試験合格率は(※全国平均78.2%)
【精神保健福祉科】 **92.4%**
第28回言語聴覚士国家試験合格率は(※全国平均66.4%)
【言語聴覚士科】 **76.1%**
- ② 短期間(精神保健福祉士9か月・社会福祉士1年6か月・言語聴覚士科および介護福祉士科2年)で受験資格を取得可能。
- ③ 安価な学費
1年6か月間の社会福祉士通信課程は、実習免除の場合、**30万円**。9か月間の精神保健福祉士短期養成通信課程は、実習免除の場合、**20万円台**。
- ④ 実務経験者は実習費及び実習履修は免除(社会福祉士科・精神保健福祉士通信課程)。
- ⑤ 社会福祉士通信課程の場合、大学等で取得した修得単位が開講時間の半分まで読み替え(単位認定)可能。

■ 募集学科／定員

- 介護福祉士科(昼間 2年/80名)
- 社会福祉士科 通信課程(1年6か月/300名)
- 言語聴覚士科(昼間 2年/40名)
- 精神保健福祉士短期養成通信課程(9か月/150名)

精神保健福祉士短期養成通信課程

修業年限 9か月(4月～12月末)
定員150名
テキストを用いた自宅学習とスクーリングおよび実習(※)で、短期間で精神保健福祉士の資格取得を目指せます。
短期養成施設の受講生で最も多いのが「社会福祉士」国家資格をお持ちの方が「相談援助のダブル資格」として精神保健福祉士国家資格を目指すケースです。相談援助職として活躍の場が広い「社会福祉士」とあわせて、「精神障害」の専門性を身に付けることで、幅が広がります。
※相談援助業務の実務経験を1年以上有する方は実習および実習指導の履修が免除になります。

・本校全ての学科・課程が専門実践教育訓練給付金の指定講座です。(最大で学費の80%受給)

※精神保健福祉士短期養成通信課程は現在申請中です。

同窓生(日本福祉大学・大学院、専門学校、付属高校)ご自身が受験されたり、同窓生のご紹介による受験の場合、検定料免除(士通信課程 15,000円、精神通信課程 10,000円、その他の学科 20,000円)の特典が受けられます。詳細は資料をご請求ください。

資料請求・お問い合わせ先

日本福祉大学中央福祉専門学校 〒460-0012 名古屋市中区千代田 3-27-11
TEL:052-339-0200 FAX:052-339-0201 E-mail chuo@ml.n-fukushi.ac.jp

同窓会維持会費について

- ・払込取扱票は発送宛名を兼ねております都合上、会費納入記録の有無に関わらず皆さまにお送りしています。
 - ・同窓会カード(三菱UFJニコス・VISA)をお持ちの場合、払込取扱票での維持会費のお振り込みは不要です。
- 10月のご利用分としてカード会社から引落としとなります。詳細はカードご利用明細をご確認ください。
- カード引き落とし対象:9月30日時点でカードご契約の方

- ★お納めいただいた最終年度は宛名の払込用紙の#に続けて印字されております。(例:#2022・・・2022年度分まで納入済) ➡
宛名印字完了から会報発送までの間にお振り込みいただいた場合は、最新のお振り込み状況が反映されていない場合があります。何卒ご了承ください。
- ◆本同窓会は、寄付金控除の対象となる団体ではありませんのでご了承ください。なお、税制上の優遇措置をご希望の場合は、日本福祉大学への寄付をお願いいたします。
(詳細は、大学ホームページをご参照ください)
 - ◆1年度分(¥1,000)から納入できます。
(8月号は当年度分、3月号は翌年度分に充当します)
 - ◆複数年度分(¥1,000×年数分)を納入される場合は、払込用紙に**必ず納入したい年度をご記入**ください。
(過年度分の納入も可能です。会費制度が開始された1995年度以降でご指定ください)
 - ◆ご記入いただいた年度の同窓会維持会費を既に納入済の場合は、翌年度(以降)分に充当します。
(同一年度分を二重で頂戴することはありません。納入いただきました会費の返金には対応しておりません)
 - ◆インターネットバンキングからの納入も可能です。
(振込手数料はご負担ください)
お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。
また、通信欄へ入力可能な場合はご希望の納入年度をご入力ください。



①銀行名・支店名で振込
(都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など)

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇八九(ゼロハチキュウ)
種別	当座
口座番号	0065485
口座名義	日本福祉大学同窓会

②記号・番号で振込(ゆうちょ銀行のみ)

記号	00890
番号	65485
口座名義	日本福祉大学同窓会

皆さまからご協力いただいた同窓会維持会費の主な支出内訳

同窓会事業…卒業生の交流・親睦、大学との連携	在学生支援…同窓会推薦入試学生生活支援金、
活動援助金…全国57地域同窓会、認定同窓会等	Uターン就職援助金、卒業記念品、卒業祝い関連行事
会報出版・郵送…同窓会会報8月号、3月号	懸賞論文事業奨励金

同窓会維持会費についてご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。

安全・安心の1枚 日本福祉大学同窓会カード!

※三菱UFJニコスと提携

同窓会カードのメリット

■ゴールドカード年会費 永年無料! (注1)

(注1) 同窓会維持会費(1,000円/年)をお支払いいただく(※)ことで、ゴールドカード年会費が無料になります。
※同窓会維持会費は毎年9月30日時点で同窓会カードをご契約の方を対象に、10月のご利用分として11月にカード会社より引き落としとなります。

■ポイント利用いろいろ!

商品への交換、キャッシュバック、提携他サービスへのポイント移行ができます。

■持っているだけで在学生支援!

同窓会カード利用額の一部は同窓会に還元され、在学生支援や同窓会活動の充実に役立てます。

■安心の各種保険サービス!

海外旅行保険・国内旅行傷害保険・ショッピング保険付帯
・詳細はカード会社のHPにてご確認ください。

■ETCカード・家族カードも作成可能!

同窓会カードがお手元に届いてからお手続きください。

お申し込み方法

同窓会カード申込専用サイトよりお申し込みください。(注2)

(注2) ・カードの審査・発行にはお時間を頂戴します。
・受付はインターネットのみとなります。
郵送ではお申し込みいただけませんのでご了承ください。



〈▲受付はこちらから〉



仕事や家庭の課題解決に導く力を 身につけるなら 日本福祉大学 通信教育部

卒業生は
入学選考料・
入学金が
無料!

学びを自由に組み合わせる

各領域のプロフェッショナルによる講義を150科目以上開講!

2026年度900名以上が入学!

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす
「認定心理士」カリキュラム開講中
科目等履修生でも取得可能!



社会福祉士国家試験 **18年連続** 合格者数全国大学 **第1位**の実績!
精神保健福祉士国家試験 **16年連続**

忙しい社会人に支持される 学習システム

※履修登録や科目修了試験はパソコンで実施します。
一部のテキスト科目、スクーリング科目は、レポートによる
試験を実施します。

授業も試験もインターネットで!
レポート提出も不要です。



目指せる資格(受験資格等を含む)

- 認定心理士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 学士(看護学)申請資格
- AFP(FP資格)
- 初級バラスポーツ指導員
- 社会福祉主事任用資格
- 児童指導員任用資格
- 児童福祉司任用資格
- 身体障害者福祉司任用資格
- 知的障害者福祉司任用資格

「科目等履修生」なら関心ある科目を1科目から学べる

- ▶関心のある科目だけを学びたい
- ▶少ない科目から学習を始めた
- ▶認定心理士を取得したい
- ▶AFP(FP資格)を取得したい

2026年度入学 出願受付締切間近

[科目等履修生・特修生]
2026年8月31日まで(消印有効)

2027年度入学 出願期間(予定)

[正科生] 2026年12月1日~2027年3月31日
[科目等履修生・特修生] 2026年12月1日~2027年8月31日

■短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にもキャリアに合わせた入学制度があります。■取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。■志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。■経済的に無駄のない単位制学費。5・6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。
●本学園同窓会員、および同窓会員の推薦を受けた方を対象にした学費等の減免制度を設けています。



日本福祉大学 通信教育部
福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室
TEL:0569-87-2932
日本福祉大学 通信 検索
www.nfu.ne.jp

資料請求は
こちらから▶



日本福祉大学同窓会会報 NO. 137

発行日: 2026年8月15日

発行: 日本福祉大学同窓会

<https://nfu-alumni.netnfu.ne.jp/>

〒460-0012 名古屋市千代田5丁目22番32号
TEL (052) 242-3051 FAX (052) 242-3052

編集後記 ◆◆◆

この137号編集の校了を迎えると同時に東海地方も梅雨明けとなり、連日40度前後の酷暑が続いています。そこまでの気温にならなくても、環境や体調次第で熱中症になるリスクは高く、そのような天候は137号が同窓生の皆さんのお手元に届く頃も続いているでしょう。体調の異変に気付いた時にはすでに発症し、一人では安全安静を確保するのが難しいこともあります。久しぶりに同窓生に会った時の会話が熱中症体験記ではなく、愉快的話題で盛り上がるよう、ご自愛ください。

◆今号をお読みになった感想やご意見、情報提供ならびに同窓会事業に関するお問い合わせはアンケートフォームからお寄せいただけます。ぜひご活用ください。 アンケートフォームはこちら▶

